

令和6年度
教育委員会の活動状況に関する
点 検 ・ 評 価 報 告 書

令 和 7 年 9 月

蘭 越 町 教 育 委 員 会

目 次

第1章 教育委員会の活動状況

1	教育委員会委員名簿	1
2	教育委員会の会議の開催状況	1
3	条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正	4
	(1) 条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止	
	(2) 主な計画の策定	
4	教育委員会委員の活動状況	5
5	各種委員会等の活動状況	5
6	令和5年度予算の状況	9
7	行政改革（組織機構）の取組について	10
	(1) 組織体制の見直し	
	(2) 事務事業等の見直し	
8	教育関係者の表彰等	11
	(1) 蘭越町文化功労者表彰	
	(2) 蘭越町スポーツ表彰	
	(3) 関係団体表彰	

第2章 令和6年度教育推進計画に基づく評価（内部評価）

1	確かな学力の育成	12
2	特別支援教育の充実	14
3	国際理解教育の充実	16
4	情報教育の充実	17
5	道徳教育の充実	18
6	ふるさと教育の充実	20
7	読書活動の推進	22
8	生徒指導・教育相談の充実	24
9	体力・運動能力の向上	26
10	食育の推進	28
11	学校段階間の連携・接続の推進	30
12	学校運営の改善	31
13	学校安全教育の充実	32
14	学校と地域の連携・協働の推進	34
15	地域に根ざした高校づくりに向けた支援	36
16	家庭の教育力の向上	37
17	子育て支援の充実	38
18	多種多様な学習機会の充実	39
19	生涯学習体制の充実	40
20	生涯各期に社会教育活動の推進	41
21	芸術文化活動の推進	42
22	文化財の保存と活用	43
23	みんなが集う花一会図書館	44
24	外に飛び出す図書館活動	46
25	生涯にわたるスポーツ活動の推進	48
26	児童生徒のスポーツ活動の充実	49
27	スポーツ環境の充実	50

第3章 外部評価

1	外部評価委員による評価・意見・・・・・・・・・・・・・・・・	51
資料		
1	教育委員会行政組織機構図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	学校の児童生徒・教職員数・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	施設利用者数・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1) 町民センター利用者	
	(2) 町民プール利用者	
	(3) 体育施設利用者	
	(4) 目名サッカー場利用者	
	(5) トレーニング室利用者	
	(6) 花一会図書館利用者	
4	学校評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	・ 昆布小学校	
	・ 蘭越小学校	
	・ 蘭越中学校	

第 1 章 教育委員会の活動状況

第 1 章 の ポ イ ン ト

教育委員会委員名簿、会議の開催状況、条例・規則等の制定及び改正、委員・各種委員会の活動状況、教育関係者の表彰など、令和 6 年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

1 教育委員会委員名簿

職 名	氏 名	任 期
委 員	西 澤 雅 明	平成 16 年 10 月 23 日～令和 10 年 10 月 22 日
委 員	高 橋 浩 之	令和 2 年 10 月 23 日～令和 10 年 10 月 22 日
委 員	宮 武 かおり	令和 5 年 12 月 21 日～令和 9 年 12 月 20 日
委 員	安 田 智恵子	令和 5 年 12 月 21 日～令和 9 年 12 月 20 日
教 育 長	小 林 俊 也	令和 2 年 12 月 20 日～令和 6 年 12 月 19 日
教 育 長	渡 邊 貢	令和 6 年 12 月 20 日～令和 8 年 12 月 19 日

2 教育委員会の会議の開催状況

蘭越町教育委員会の会議は、おおよそ毎月 1 回開催しており、緊急の案件がある場合には臨時の会議を開催しています。

この会議において、教育長と 4 名の教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する条例及び規則等の制定や改正など、様々な議題について審議しています。

期 日	付 議 案 件 等
第 4 回 令和 6 年 4 月 2 4 日	(報告) (1) 小中学校の体罰等に係る実態把握、対応状況について (2) 令和 6 年度蘭越町立小学校施設の開放について (審議) (3) 蘭越町特別支援連携協議会委員の任命について (4) 蘭越町教育支援委員会委員の任命について (5) 蘭越町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について (6) 蘭越町立学校に係る部活動の方針の改正 (案) について (7) 学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン (第 3 期) の策定 (案) について (8) ふるさとらんこし未来応援奨学金奨学生の採用について (9) 令和 6 年度一般会計教育費補正予算 (案) について (協議) (10) 蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表について
第 5 回 令和 6 年 6 月 6 日	(報告) (1) 第 4 地区教科書採択教育委員会協議会委員の選出について (2) 令和 6 年度一般会計教育費補正予算について (審議) (3) 蘭越町教育推進計画策定委員会委員の委嘱について (4) 令和 6 年度一般会計教育費補正予算 (案) について (協議) (5) 教育委員視察研修について
第 6 回 令和 6 年 8 月 2 日	(報告) (1) 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について (審議) (2) 蘭越町教育委員会点検評価外部評価委員会委員の任命について (3) 蘭越町体育施設条例に基づく使用料の減免取扱い規程の一部を改正する訓令 (案) について (4) 令和 6 年度一般会計教育費補正予算 (案) について (協議) (5) 令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

第7回 令和6年 8月27日	(審議) (1) 令和7年度使用小学校用教科書の採択について (2) 令和7年度使用中学校用教科書の採択について (3) 令和7年度使用小・中学校用特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について (4) 令和6年度一般会計教育費補正予算（案）について (協議) (1) 蘭越町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（案）について (2) 令和6年度教育委員会学校訪問について
第8回 令和6年 10月30日	(報告) (1) 蘭越町教育委員会教育長職務代理者の指名について (2) 小中学校のいじめ問題の対応について (3) 令和6年度一般会計教育費補正予算について (審議) (4) 蘭越町学校運営協議会委員の任命について (協議) (5) 蘭越町立学校の教職員に係る超過在校等時間の公表について (6) 令和6年度第1回蘭越町総合教育会議について
第9回 令和6年 11月29日	(報告) (1) 学校職員の交通事故等に係る指導等について (2) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について (審議) (3) 令和6年度一般会計教育費補正予算（案）について (協議) (4) 令和7年度「教育行政執行方針」骨子について (5) 令和7年度一般会計教育費予算（案）について (6) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表について (7) 令和6年度第1回蘭越町総合教育会議について
第10回 令和6年 12月9日	(同意) (1) 教育長の辞職の同意について
第11回 令和6年 12月25日	(報告) (1) 蘭越町教育委員会事務局職員の任命について (承認) (2) 令和6年度要保護・準要保護児童生徒の認定について (指名) (3) 蘭越町教育委員会教育長職務代理者の指名について
第1回 令和7年 1月31日	(審議) (1) 令和7年度全国学力・学習状況調査実施方針（案）について (2) 令和6年度一般会計教育費補正予算（案）について
第2回 令和7年 2月25日	(報告) (1) 蘭越町教育推進計画改定に関する答申について (2) 令和6年度一般会計教育費補正予算について (審議) (3) 学校職員の人事の内申について (4) 蘭越町教育推進計画改定（案）について (5) 第4次蘭越町子どもの読書活動推進計画（案）について (6) 令和6年度一般会計教育費補正予算（案）について (7) 令和7年度教育行政執行方針（案）について (8) 令和7年度一般会計教育費予算（案）について (9) 令和7年度歳入歳出予算のうち教育関係予算に係る教育委員会の意見について

	(協議) (10) 令和6年度第1回教育委員学校訪問結果について
第3回 令和7年 3月25日	(報告) (1) 学校職員の人事の内申について (2) 教育委員会事務局職員の交通事故等に係る指導等について (承認) (4) 令和7年度要保護・準要保護児童生徒の認定について (審議) (5) 蘭越町教育委員会事務局職員の任免について (6) 第7次蘭越町生涯学習推進計画らんらんプラン21(案)について (7) 蘭越町花一会図書館運営協議会委員の任命について (8) 蘭越町スポーツ推進委員の任命について

3 条例・規則等並びに各種計画等の制定及び改正

令和6年度の教育関係の条例制定、改正はありません。

規則・要綱等の制定、改正の状況は次のとおりです。

なお、各種計画等については、学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン（第3期）、第4次蘭越町子どもの読書活動推進計画及び第7次蘭越町生涯学習推進計画らんらんプラン21の策定と蘭越町教育推進計画の改定を行いました。

（1）条例・規則・要綱等の制定、改正及び廃止

公布（施行） 年月日	題 名
6. 8. 5	蘭越町体育施設条例に基づく使用料の減免取扱い規程の一部を改正する訓令

（2）主な計画の策定

策定年月日	題 名
6. 4. 24	学校における働き方改革蘭越町アクション・プラン（第3期）
7. 2. 25	蘭越町教育推進計画
7. 2. 25	第4次蘭越町子どもの読書活動推進計画
7. 3. 25	第7次蘭越町生涯学習推進計画らんらんプラン21

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、月1回の定例会に加え、例年、各小中学校の行事、各種表彰式へ出席するほか、各種研修会に出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

※教育長は除く

日 時	活 動 内 容	委 員 名
4 月 3 日	転入教職員辞令交付式	全 員
5 月 2 1 日	蘭越高校を地域とともに考える会総会	安 田
7 月 1 8 日	北海道市町村教育委員研修会（札幌市）	全 員
7 月 1 9 日	教育委員視察研修（美唄市）	全 員
8 月 1 5 日	蘭越町「はたちのつどい」	西澤・高橋・宮武
1 0 月 1 3 日	後志管内市町村教育委員会研修会（倶知安町）	西澤・宮武・安田
1 2 月 9 日	蘭越町総合教育会議	全 員
2 月 4 日	第1回教育委員学校訪問（昆布小・蘭越小・蘭越中）	全 員

5 各種委員会等の活動状況

蘭越町教育委員会に設置している主な審議機関、委員会等は次のとおりです。第6次蘭越町総合計画実行計画（令和2年度～令和6年度）や教育計画「蘭越町教育推進計画（令和2年度～令和6年度）」と整合性を図りながら、生涯学習活動、子どもの読書活動等の推進に努めました。

名 称	委員数	会 議 開催数	主 な 協 議 事 項	会議開催 年 月 日
蘭越町生涯 学習推進委 員会	1 5	全体会 2	・令和6年度 第1回会議（令和6年度 生涯学習の推進及び専門部会の具体的な活動について）	令和 6. 4. 22
		社会教育専門 部会 2	・令和6年度 第2回会議（令和6年度 社会教育事業及び生涯学習推進委員会の活動報告について、第7次らんらんプラン21の策定（案）について）	令和 7. 2. 28
			社会教育専門部会	
			・令和6年度 第2回社会教育専門部会会議（上半期の事業報告及び蘭越町生涯学習推進計画「らんらんプラン21」について）	令和 6. 11. 6
			・視察研修（学校法人学びのさと自由が丘学園まおい学びのさと小学校）	令和 6. 11. 25

		文化財 専門部 会 2	文化財専門部会 ・視察研修（当別町：伊達記念館及び伊達邸別館） ・令和6年度 第2回文化財専門部会会議（史跡地マップ作成に伴う現地調査及び確認作業）	令和6.8.22 令和6.10.26
蘭越町子ども教室運営委員会	8	2	・令和6年度放課後子ども教室の運営の体制並びに蘭越町学校支援地域本部事業について ・令和6年度放課後子ども教室実施状況について	令和6.5.9 令和7.3.18
蘭越町花一会図書館運営協議会	10	2	・令和5年度図書館運営状況 ・令和6年度図書館運営 ・図書館運営状況（令和6年4月～12月） ・第4次蘭越町子どもの読書活動推進計画（案） ・図書館運営・利用サービスに対する意見 ・図書館運営協議会委員の改選	令和6.4.26 令和7.2.6
蘭越町スポーツ推進委員会	11	3	・第1回スポーツ推進委員会会議 ・第2回スポーツ推進委員会会議 ・令和6年度の総括について	令和6.4.11 令和6.9.25 令和7.3.24
蘭越町スポーツ表彰選考委員会	6	1	・令和6年度蘭越町スポーツ功労賞及びスポーツ栄誉賞の選考について	令和6.8.19 （書面開催）
蘭越町学校給食センター運営委員会	8	2	・令和5年度給食会計収支決算 ・令和6年度学校給食センター費予算 ・令和7年度給食回数について	令和6.6.11 令和6.12.16

蘭越町特別 支援連携協 議会（相談 支援チーム 会議）	2 5	本会議 1	・相談支援チーム ・医療的ケア運営協議会専門部会 ・相談支援要請 ・情報交換	令和 6. 8. 1
		チーム 会議 1	・幼児児童生徒の個別での支援方向検討 ・翌年度就学児童の情報共有と支援方向検討 ・翌年度中学進学生徒の情報共有と支援方向検討	令和 6. 8. 20
蘭越町特別 支援連携協 議会（医療 的ケア運営 協議会専門 部会）	8	2	・関係規定及びガイドラインの点検 ・令和 6 年度医療的ケア実施検討	令和 6. 4. 26
			・関係規定及びガイドラインの点検 ・令和 7 年度医療的ケア実施検討	令和 7. 3. 27
蘭越町外国 語教育連携 推進会議	2 1	全体会 1	・令和 6 年度の取り組み ・外国語教育 C A N - D O リスト	令和 6. 6. 28
		ワーキングチ ーム会議 1	・令和 6 年度の成果と課題 ・令和 7 年度の取り組み	令和 7. 3. 31 (書面開催)
蘭越町学校 運営協議会 委員会	1 8	2	第 1 回 ・地域学校協働活動との連携について ・学校運営に係る上半期の報告について 第 2 回 ・学校評価について ・次年度の学校経営方針及びグランドデザインについて ・地域学校協働活動推進員の配置・取り組みについて ・教育委員会の取り組みについて	令和 6. 11. 8
		学校 部会 3	・中学校部会 ・昆布小学校部会 ・蘭越小学校部会	令和 7. 2. 26 令和 6. 9. 9 令和 7. 3. 10

蘭越町教育 推進計画策 定委員会	1 8	全体会 2	・教育推進計画改定に関する諮問 ・教育推進計画の改定 ・専門部会の設置 ・進め方と今後の日程 ・教育推進計画素案のパブリックコメント実施結果 ・教育推進計画答申案 ・進め方と今後の日程 ・教育推進計画改定案審議	令和 6. 6. 26
		学校教 育専門 部会 1		令和 7. 2. 21
		生涯学 習専門 部会 1	・教育推進計画改定審議案	令和 6. 11. 25
				令和 6. 12. 16

6 令和6年度予算の状況

令和6年度一般会計教育費の最終予算は1,541,352千円で、一般会計の16.6%を占め、教育費全体としては、対前年比780,171千円の増となりました。蘭越中学校の大規模改修工事（Ⅰ期工事）を行ったほか、各学校に空調設備を設置しました。また、各学校、町民センター及び学校給食センターの照明のLED化、導入から5年が経過したGIGAスクール学習用タブレット及び老朽化したスクールバス、給食配送車の更新を行いました。そのほか、学校運営、社会教育やスポーツ活動等限られた財源の中、効率的な各種事業の実施に努めました。

教育費最終予算の内容（項、目別予算）

（千円）

項 及 び 目	予 算 額
1 教育総務費	200,480
（1）教育委員会費	1,538
（2）事務局費	105,039
（3）奨学金	2,520
（4）スクールバス費	91,383
2 小学校費	220,925
（1）学校管理費	210,338
（2）教育振興費	10,587
3 中学校費	821,083
（1）学校管理費	817,117
（2）教育振興費	3,966
4 社会教育費	97,498
（1）社会教育総務費	43,779
（2）町民センターらぶちゃんホール費	24,336
（3）花一会図書館費	25,422
（4）放課後子ども教室費	3,961
5 保健体育費	201,366
（1）保健体育総務費	28,754
（2）体育施設費	50,395
（3）学校給食センター費	122,217
合 計	1,541,352

7 行政改革(組織機構)の取組について

近年、国・地方を通じる財政の危機的状況は益々その深刻さの度合いを深め、地方公共団体の財政状況は、年々その厳しさを増してきており、この難局を乗り越えるためには財政構造そのものを変革する必要があります。

そのためには、財政と不可分の関係にある行政の仕組みと連動させて推進する必要があり、現行の制度や施策を見直し、行財政の構造をその根源から変革するため、組織体制や事務事業の見直しを進めました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価が義務付けられておりますので、令和5年度の蘭越町教育推進計画の実施状況等報告書を作成の上、議会へ提出及び公表をしております。

(1) 組織体制の見直し

令和6年度は、教職員の働き方改革に対応する部活動指導員の配置や特別な支援や配慮が必要な小学校入学前の幼児、小・中学校に在籍する児童生徒及び保護者に対して、言語面や行動面等に関する教育相談や情報提供、関係機関との連携を行う教育相談支援員を設置するとともに、昨年同様、職員を兼務発令し、業務の円滑な執行に努めました。

- ・ 学 務 課 主 幹 ～ 総務係長 兼務
- ・ 生涯学習課主幹 ～ 町民センター長、業務係長、花一会図書館館長及び業務係長 兼務
- ・ スポーツ課主幹 ～ 総合体育館長 兼務
- ・ 学校給食センター長 ～ 業務係長 兼務
- ・ スポーツ課スポーツ振興係長 ～ スポーツ施設係長及び総合体育館業務係長 兼務

(2) 事務事業等の見直し

多くの施設、備品等が老朽化しており、修繕、更新に向けた費用も見込まれることから計画的な予算の措置、執行が求められます。人口減少や少子高齢化、社会情勢の変化に対応するため、限られた資源を有効活用し、教育施策の向上に努めます。

8 教育関係者の表彰等

令和6年度の主な教育関係の表彰等は次のとおりです。

(1) 蘭越町文化功労者表彰

文化功労者表彰 該当なし

(2) 蘭越町スポーツ表彰

スポーツ功労者表彰

河 田 茂 (ソフトテニス 字大谷)

スポーツ栄誉賞表彰

八木橋 乙 葉 (アルペン競技 蘭越中1年)

(3) 教育関係表彰等

・瑞宝双光章

逢 坂 幸 裕 (元昆布小学校長)

(4) 関係団体表彰

・蘭越町文化団体協議会表彰

ア 文化賞

文化賞 該当なし

イ 文化奨励賞

國 岡 民 子 (歌声サークル「はな」)

・ 蘭越町スポーツ協会スポーツ表彰

ア スポーツ功労賞

スポーツ功労賞 該当なし

イ スポーツ振興賞

山 本 光 夫 (卓球協会)

上 仙 知 巳 (軟式野球連盟)

ウ スポーツ奨励賞

気 田 隼 人 (蘭越中3年) 北海道中学校柔道大会 男子81kg級 準優勝

エ スポーツ努力賞

園 家 琉 愛 (蘭越中3年) 小樽後志中体連ソフトテニス大会 女子個人 優勝

福 村 和 心 (蘭越中3年) 小樽後志中体連ソフトテニス大会 女子個人 優勝

蘭越中学校ソフトテニス部 小樽後志中体連ソフトテニス大会 女子団体 優勝

蘭越中学校陸上部 後志中学校陸上競技大会 女子団体 優勝

蘭越野球スポーツ少年団 後志学童軟式野球大会 外 優勝

佐々木 里和子 (蘭越中2年) 全国中学校スキー大会 女子GSL 5位

第2章 令和6年度教育推進計画 に基づく評価（内部評価）

第2章のポイント

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする蘭越町教育推進計画に基づき、令和6年度の教育委員会の活動の点検・評価を行ったものです。

具体的には、「教育推進計画」に示した27項目の施策について、目標指標の実施状況や、令和6年度事業の取組概要・成果や課題・今後の方向性を整理しています。

施策項目 1 確かな学力の育成

目 標

学校と家庭が連携を図りながら、子どもの学ぶ意欲を育むとともに、望ましい学習習慣を身に付けさせ、確かな学力を育む。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年（R元）	R 5	R 6	目標（R 6）
児童・生徒の授業の理解	全国学力・学習状況調査において、「国語・算数・数学の授業の内容は分かる」と回答した町内児童・生徒の割合（小学6年生、中学3年生）	小国 90.7% 小算 84.4% 中国 77.8% 中数 72.2% 中英 58.4%	小国 100.0% 小算 81.0% 中国 91.7% 中数 70.8% 中英 58.3%	小国 96.9% 小算 81.3% 中国 84.8% 中数 60.7% 中英 質問項目なし	小国、算 90% 中国、数 80% 中英 65%以上をめざす
基礎・基本の定着の状況	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率を100とした場合の町内学校のすべての教科の平均正答率	小国 114 小算 101 中国 98 中数 99	小国 104 小算 117 中国 95 中数 84	小国 96 小算 98 中国 77 中数 65	すべての教科で100以上をめざす
家庭学習の取組状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という設問に対して、「1時間以上勉強している」と回答した町内児童・生徒の割合	小 50.0% 中 44.4%	小 47.6% 中 54.2%	小 43.8% 中 30.3%	「1時間以上勉強する」と回答する町内児童・生徒の60%以上をめざす
	全国学力・学習状況調査において「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問に対して、「している」と回答する町内児童・生徒の割合	小 59.4% 中 47.2%	小 81.0% 中 70.8%	質問項目なし	すべての児童・生徒が計画を立てて勉強していると回答することをめざす
幼保小中の連携	確実な接続を目指す相互視察(授業参観等)や乗り入れ授業の実施	幼保小視察 入学説明会 体験入学	幼保小視察 入学説明会 体験入学 中→小視察 中→小乗り入れ授業	幼保小視察 入学説明会 体験入学 中→小視察 中→小乗り入れ授業	視察や乗り入れ事業100%をめざす
指導技術の向上	教職員の教科指導に係る専門的な研修への参加率	85.0%	95.6%	97.7%	一人一研修をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る学習活動の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
放課後や長期休業期間を利用した補充的な学習、児童・生徒の主体的な学習を支援する体制の充実	・休み時間や放課後等必要に応じて行ってきた。（蘭越小） ・放課後に放課後子ども教室と連携し、児童の実態に合わせた補充的な学習を行った。（昆布小） ・長期休業中に夏2回、冬2回の学習会を実施した。（蘭越小・昆布小） ・定期テスト前放課後学習会や長期休業中学習会に加え、随時放課後学習を行った。（中学校）	・スクールバスの下校時刻を考慮し、可能な範囲で行っていく。（蘭越小） ・プリントやA Iドリル等を活用して、基礎事項の定着を図る。（昆布小） ・個に応じた学習支援を継続する。（中学校）

(2) 学年の発達段階に応じた家庭での学習習慣の定着を図り、主体的に学習に取り組む等、学びに向かう力の涵養

① 令和6年度取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭における学習習慣の確立	・「家庭学習の手引き」を各家庭に配付。保護者会等でも呼びかけ、連携を図り、学習習慣の定着に努めた。(蘭越小) ・家庭学習の手引きを配付し、家庭の協力を求めた。学級編成や発達段階に即した手引きを活用して指導した。成果を廊下に掲示し、内容交流や良い例の紹介をして、内容の向上を図った。(昆布小) ・各教科の家庭学習ノートを毎日提出するよう指導し、各教科担当が添削してコメントを記入し継続して取り組めるよう努めた。また、スマイルネクストの活用を促した。(中学校)	・これからも児童が進んで取り組むことができるよう、家庭と連携して進めていく。(蘭越小) ・今後も内容交流や良い例の紹介など、習慣化につながる手立てを講じていく。(昆布小) ・学習ノートとスマイルネクスト(学習用タブレット端末学習ドリル)の自主的な取り組みを進める。(中学校)

(3) 幼保小中の連携を図るとともに、確実な接続を実現する指導体制の確立

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スムーズな接続を実現する連携・指導体制の確立	・幼保小、小中教員間で引き継ぎを行い、児童には体験入学、保護者には説明会を実施。また、授業を参観することで連携を図った。スタートカリキュラムを作成した。(蘭越小) ・入学前の「はばたきシート」の引き継ぎ、中学校からの乗り入れ授業(中学校の生活事前学習、英語)を継続して実施している。(昆布小) ・教育課程交流会や町教研において、学習規律の共有や、小学校への乗り入れ授業を積極的に行った。(中学校)	・これからもスムーズな接続ができるよう進めていく。(蘭越小) ・今後も継続するとともに、学校種間を超えて授業を見合う機会を増やし、よりスムーズな接続になるよう図る。(昆布小) ・町教研を活用して校種を超えた教職員の連携を行う。(中学校)

(4) 管理職や先輩教員からの学びや同僚間の学び合いと校内研修の推進

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
外部での研修や外部講師を招く研修による教科研究の充実	・町外から教科指導の充実(国語)について外部講師を招いて研修を深めた。町教研での講演会で後志教育局より講師を招いて、「地学協働」について研修を深めることができた。(蘭越小) ・後志教育研修センターの研修講座へ積極的に参加し、校内で成果の共有を図った。また、町教研主催で後志教育局教育支援課社会教育指導班主査から渡辺準氏をお迎えした講演「地学協働の推進～求められる背景と学校の役割～」に参加し、研修を深めた。(昆布小) ・研修の受講奨励を行いキャリアステージに応じた研修を促した。(中学校)	・外部講師を招いて教科研究の充実を図ることができた。さらに進めていく。(蘭越小) ・働き方改革を進めつつ、外部研修へ積極的に参加すると共に、外部講師の積極的な活用を図る。(昆布小) ・研修受講奨励をもとに、更に研修への参加率を上げるとともに、他校の授業実践を学ぶ機会を設定し研修を促す。(中学校)

施策項目 2 特別支援教育の充実

目 標

一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、学校関係者や保護者などに対し、特別支援教育に関する理解を深め、幼児期から学校卒業までの切れ目ない一貫した指導や支援を行う。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
「個別の教育支援計画」の策定状況	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒の「個別の教育支援計画（幼保：羽ばたきシート）」の入学・進学先等における引き継ぎ、活用している割合	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高 0%	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高 100%	幼・保→ 小 100% 小→中 100% 中→高 100%	対象児童・生徒について 100%活用を維持し、高校での活用 100%をめざす。
特別支援教委に関する研修の状況	各校の特別支援教育に関する校内研修の実施状況	各校、校内研修に取り上げている。	各小学校、校内研修に取り上げている。 中学校、年間計画の中に位置づけ、実施している。(R 5年度は指導主事要請訪問により、特別支援に関わる研修を実施)	各蘭越小、校内研修で取り上げている。 中学校、年間計画の中に位置づけて実践している。(ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業について研修を実施)	各校 1 回以上の研修開催

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 一貫した支援をめざした特別支援教育の推進

① 令和 6 年度 の 取組 概要	② 令和 6 年度 の 取組 の 成果 や 課題	③ 今後の方向性
通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒における「個別の教育支援計画」の策定・活用	・通常学級担任、特別支援コーディネーター、通級担当が連携し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を策定し、指導に活用している。(蘭越小) ・通常学級担任、特別支援学級担任、通級担当が連携し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を策定し、指導に活用している。(昆布小) ・昨年度から「実態把握票」を作成し、特別な支援を要する生徒を把握して、「個別の教育支援計画」を策定して活用した。(中学校)	・今後も子ども支援委員会、情報交流会を定期的に開催することで実態に応じた支援となるよう推進していく。(蘭越小) ・今後も校内サポート会議で情報を共有しながら、実態に応じた支援ができるよう推進する。(昆布小) ・「実態把握票」の作成を継続し、合理的配慮や支援計画につなげ、学校全体で共通した支援を行う。(中学校)

(2) 幼稚園、小・中学校、高等学校などにおける特別支援教育の充実

① 令和6年度 of 取組概要	② 令和6年度 of 取組の成果や課題	③ 今後の方向性
蘭越町特別支援連携協議会の専門的な相談支援の充実（就学支援シートの取組含む）	・関係機関と連携を図り、相談支援を実施した。（蘭越小） ・協議会の活動内容を踏まえ、ケース会議や相談支援等を実施した。（昆布小） 協議会の活動内容を踏まえ、校内の特別支援委員会を充実させ、個々に応じた支援につなげられるようにした。（中学校）	・さらに連携を強化し、特別支援教育について充実を図っていく。（蘭越小） ・専門機関との連携を強化し、特別支援教育の充実を図る。（昆布小） 生徒や保護者のニーズを踏まえ、協議会や校内生活支援委員会の討議を経ながら適宜関係機関と連携していく。（中学校）

(3) 特別支援教育に関する研修の充実

① 令和6年度 of 取組概要	② 令和6年度 of 取組の成果や課題	③ 今後の方向性
障害に関する研修の充実	・幼小、小中の繋がりを深めつつ充実することができた。（蘭越小） ・校内研修の理論研修を行う中で、特別支援教育に関する情報交換などを実施した。（昆布小） ・特別支援委員会を月に1度開催し、特別支援学級生徒をはじめ通常学級在籍の生徒において支援が必要な生徒の状況について交流し、支援体制について協議・研修した。（中学校）	・幼少期の教育相談の実施により早期の対応を図っていく。（蘭越小） ・特別支援コーディネーターや外部講師による研修を行い、障害に関する知識を高めるとともに、支援の充実を図る。（昆布小） ・今後も個に応じた支援やユニバーサルデザインを踏まえた教育活動を組織的に実践できるよう研修を行う。（中学校）

施策項目 3 国際理解教育の充実

目 標

国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統等について理解を深め、尊重し、様々な価値観を持つ人々と共に協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育成する

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年	R 5	R 6	目標 (R 6)
外国語活動の実施状況	A L Tが支援した外国語・外国語活動の授業時数 (小中学校)	授業時数 100% (R1)	授業時 100%	授業時 100%	授業時数 100% 継続をめざす
外国語研修の実施状況	小学校の教員を対象とした外国語研修の実施	未実施 (H30)	(蘭越小) 1 回実施 (昆布小) 未実施	(蘭越小) 未実施 (昆布小) 未実施	年間 1 回の実施をめざす
英検 3 級合格者の状況	中学校卒業段階で英検 3 級以上を取得又は英検 3 級の英語力を有すると思われる生徒の割合	17.5% (H30)	18.2%	19.4%	30%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 外国語教育の充実

① 令和 6 年度の取組概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
A L Tを活用した外国語活動 (小学校)	・ 3, 4 年のみならず、1, 2 年生においても外国語活動を行い、外国語に触れる活動を行った。(蘭越小) ・ 低学年では年間 10 時間の外国語活動を実施した。体を動かしゲームをしながら英語に触れる活動を行った。(昆布小)	・ 授業における A L Tの効果的な活用を踏まえた実践研修を行っていく。(蘭越小) ・ 今後も全ての学年で外国語を学び、外国語の一層の定着を図る。(昆布小)
A L Tを活用した外国語教育 (中学校)	・ 授業において、スモールトークやショートスピーチ、パフォーマンステスト等で活用することができた。(中学校)	・ 「English トライアル」など活性化させるなど計画的な活用を図る。(中学校)

(2) 国際理解・異文化理解協力の推進

① 令和 6 年度の取組概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
国際交流・異文化交流の実施 (A L Tの活用含む)	・ 授業はもちろんのこと、授業以外でも A L Tとの交流している場面を見かけることが多くなってきた。(蘭越小) ・ 3, 4 年が地域人材を活用し、ロールプレイングを実施した。(蘭越小) ・ 特別な取り組みを行うことはできなかったが、外国語活動・外国語を中心に A L Tとの交流機会を設定している。(昆布小) ・ A L Tのスピーチや、スモールトークを通して、アメリカ合衆国の文化に触れる機会を設けた。(中学校)	・ 外国語活動を充実させることで、自然に交流できる機会を増やしていく。(蘭越小) ・ A L Tや地域人材を活用し、国際交流や異文化交流機会を増やしていく。(昆布小) ・ 継続して国際理解交流を行っていく。(中学校)
国際理解・異文化理解の活動	・ 外国語や他の教科において日本と比較しながら理解を深めた。(蘭越小) ・ 外国語の学習の中で、日本と比較しながら理解を深めてきた。(昆布小) ・ 各国の世界遺産や観光地についての調べ学習やプレゼン発表などを行った。(中学校)	・ 今後も活動を推進していく。(蘭越小) ・ 外国語以外の授業で A L Tを活用するなど、A L Tの活動の場を工夫したい。(昆布小) ・ A L Tとの交流や I C Tを活用して国際理解に触れる機会を増やしていく。(中学校)

施策項目 4 情報教育の充実

目 標

情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することや情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を育てる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年（R元）	R 5	R 6	目標（R 6）
コンピューターを活用した指導の状況	学校における教育情報化の実態等調査におけるコンピューターを活用して指導できる教員の割合	88.9%	78.8%	81.3%	100%をめざす
情報教育に関する指導の状況	情報教育やプログラミング教育に関する研修の充実	小 R2、中 R3 完全実施	小、中 完全実施	小、中 完全実施	カリキュラムへの導入 100%

点検・評価の課題と今後の方向

（１）視覚情報モラルの向上を図る指導内容の充実

① 令和 6 年度の取組概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
情報モラル向上のための児童・生徒向け指導資料の作成・配布、情報教育に関する教員研修	・外部講師による「情報モラル教室」で学習した。（蘭越小） ・情報モラルに関する資料を配付し、児童への指導と保護者への啓発を行った。（昆布小） ・教育委員会等から提供される資料を配付し、学級指導を行った。また、情報教育に関する教員研修を行った。（中学校）	・情報モラル教室の実施のほか、資料をもとに啓発する必要がある。（蘭越小） ・情報モラル教室や教職員の研修を実施する。（昆布小） ・生徒の実態を把握し、実態に合わせて必要な資料を配付・指導するとともに、保護者にも重ねて発信する。（中学校）

（２）情報教育に関する指導方法の工夫・改善

① 令和 6 年度の取組概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
教育関係機関を結ぶネットワークの活用、情報教育に関する職員研修	・ICTの活用については、たくさんの教員が研修に参加し、活用力向上を図ることができた。（蘭越小） ・Termsを活用した学習課題や資料の配付、集約、共同編集などを行った。授業におけるAIドリルの使用を積極的に行った。（昆布小） ・校務支援システムを活用した情報共有に加えて、道教委等から提供される研修 link ナビを元にした研修を促した。（中学校）	・これからも研修を積み重ね、さらなる充実を図る必要がある。（蘭越小） ・今後も継続すると共に、Chromebookに移行した後の教職員研修を充実させる。（昆布小） ・MEXCBTで提供されるサポート問題の活用、研修 link ナビの活用を更に促進する。（中学校）

（３）情報教育設備の整備・充実

① 令和 6 年度の取組概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
高速情報通信ネットワークに対応したICT機器の整備	・令和 2 年度にギガスクール構想に伴う一人一台のタブレット端末の導入及び校内ネットワークを構築済み。 ・学習用タブレットの破損、不具合が多発しており、その対応に課題がある。	今後、5G通信網インフラが整備される場合は、対応する機器等への更新を検討する。

施策項目 5 道徳教育の充実

目 標

基本的な生活習慣の確立や最低限の規範意識だけでなく、自分への信頼感や自信などの自尊感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うことと併せ、法やルールの意義やそれらを尊重することなどの意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人間を育てる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 5	R 6	目標 (R 6)
規範意識や基本的な倫理観等の状況	全国学力・学習状況調査において、「学校の決まりをまもっていますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 93.7% 中 97.3%	質問項目なし	質問項目なし	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
自尊感情の状況	全国学力・学習状況調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 93.7% 中 72.2%	小 95.23% 中 66.67%	小 93.8% 中 87.8%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
向上心の状況	全国学力・学習状況調査において、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 81.3% 中 69.4%	質問項目なし	質問項目なし	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
生命の尊重や他者への思いやりの状況	全国学力・学習状況調査において、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 96.9% 中 88.9%	小 95.2% 中 91.7%	小 100.0% 中 100.0%	すべての児童生徒がどちらかを回答することをめざす
社会参画への意識の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問事項について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内児童生徒の割合	小 62.6% 中 33.3%	小 81.0% 中 54.2%	小 87.5% 中 72.7%	80%の児童生徒がどちらかを回答することをめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭や地域と連携を図り、多様な教育資源を活用した子どもの発達段階に応じた道徳教育の充実

① 令和6年度取組概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の人材活用や体験活動を取り入れた道徳教育の実践	・外部講師を招いて人権教室を実施するなど道徳教育を実践した。 ・人権教室や総合的な学習での地域自然体験を通じて、効果的な学習を行うことができた。(昆布小) ・交通安全教室、防災学習等で地域人材を活用した道徳教育を実践した。(中学校)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・さらなる人材発掘のため、学校運営協議会をはじめ地域との連携を図る。(中学校)
「道徳の時間」(「特別な教科である道徳(道徳科)」)の充実	・道徳教育推進教諭を中心に授業改善に取り組むことができた。(蘭越小) ・指導技術の向上を図った。参観日での授業公開が少なかった。(昆布小) ・学年団で連携し、お互いに指導方法を交流しながら同じ歩調で道徳の時間に取り組むなど研修を深めるよう取り組んだ。(中学校)	・これからも授業づくりについて研修を深めていく必要がある。(蘭越小) ・参観日における授業公開も適宜実施していく。(昆布小) ・中心発問の精選や補助発問の工夫、ICTを活用した交流の工夫など指導力の向上を目指す。(中学校)

(2) 道徳的価値の自覚を深めさせる指導の充実

① 令和5年度取組概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
「総合的な学習の時間」などにおけるボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障がい者、外国人との交流の実施	・自然体験活動では、遠足、川の学習、宿泊研修における体験活動、米作りなど様々な活動を展開できた。(蘭越小) ・地域の清掃活動をボランティア活動として行った。地域の人材を活用した自然体験活動を実施した。(昆布小) ・「職場体験」を通して、勤労の意義や社会貢献について考える機会としている。(中学校)	・これからも改善を図りながら、継続していく。(蘭越小) ・C S と連携し、自然体験や交流活動などを積極的に実施していく。(昆布小) ・「職場体験」を3年生から2年生での実施にシフトチェンジし、体験活動からさらに探究を深める学習により道徳的価値の高まりを目指す。(中学校)
家庭や地域と連携した道徳教育の実施	・児童会を中心に募金活動にかかわるなど地域と連携した活動を行った。(蘭越小) ・資料提供や子どもへの励ましをお願いなど、保護者と連携した道徳の実践を行った。(昆布小) ・吹奏楽部の地域貢献としての演奏出演や、町中高生ボランティアへの参加、生徒会活動を中心とした街頭募金活動など、ボランティアや地域連携により豊かな心の育成に取り組んだ。(中学校)	・これからも地域や家庭と連携を図り、取り組んでいく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・家庭に対し、さらなる主旨の理解を促し、地域に生きる人材育成に努める。(中学校)

施策項目 6 ふるさと教育の充実

目 標

自分たちの住む地域の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業などに理解を深めるとともに、アイヌの人たちの歴史や文化、北方領土について正しい知識を身に付ける。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (R元)	R 5	R 6	目標 (R 6)
ふるさとへの関心の状況	全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した町内児童、生徒の割合	小 62.6% 中 33.3%	小 54.17% 中 81.0%	質問項目なし	小 80%、中 80%をめざす
アイヌの人たちの歴史・文化に関する教育の実施状況	アイヌの人たちの歴史・文化に関する学習において、資料などを活用した調べ学習や体験を通した学習を行っている授業の割合 (小・中学校)	調べ学習を行っているが、体験を通した学習は不十分	(小学校) 調べ学習を行っているが、体験を通した学習は不十分 (情報機器を活用し疑似体験できるよう取り組んだ。) (中学校) 花一会図書館と協力して、資料の充実や調べ方を工夫して、調べ学習の充実を図った。また、調査内容を深めるためにウポポイの見学を実施した。	(小学校) 調べ学習を行っているが、体験を通した学習は不十分 (情報機器を活用し疑似体験できるよう取り組んだ。) (中学校) 花一会の協力を受け資料を充実させて調べ学習の工夫と充実を図った。また、調査内容を深めるためにウポポイの見学を実施した。	施設や人材等を活用した体験を通した学習の完全実施、100%をめざす
北方領土学習の実施状況	北方領土に関する学習において、資料等を活用した調べ学習や体験を通した学習を行っている学校の割合	調べ学習を行っているが、資料の活用は不十分	(蘭越小) 情報機器を駆使して調べ学習を実施し、知識に留まらない学びになるよう工夫している。 (昆布小) 調べ学習を行っているが、体験を通した学習は不十分 (中学校) 社会科の授業で、資料を用いた学習に取り組んだが、調べ学習をすることはできなかった。	(蘭越小) 資料を活用した学習を展開し、情報機器も活用した調べ学習を行った。 (昆布小) 調べ学習を行っているが、体験を通した学習は不十分。 (中学校) 社会科の授業において資料を用いた学習を行ったが、調べ学習には至らなかった。	資料等を活用した調べ学習の完全実施、100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) ふるさとの自然や歴史、伝統、文化、産業等に関する教育の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校における地域の施設や人材、自然環境などの教育資源を活用した学習活動	・遠足、川の学習、米作り、まち探検や地域調べにおけるインタビューなど、各学年で多様な活動を展開できた。(蘭越小) ・総合的な学習の時間や生活科に、地域の人材や自然環境を生かした学習活動を取り入れることができた。(昆布小) ・3年生の職場体験学習において町内および近隣町村で2日間実施し、職業観の理解を深めた。(中学校) ・花一会と連携して、調べ方や学び方など調べ学習の基礎を身に付けることができた。(中学校) ・旅行的行事で一貫して地域学習を取り入れ改めて蘭越町のよさを確認させることができた。(中学校)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・総合的な学習の年間計画に位置づけられた田植えや稲刈りなどの体験活動を実施できるようする。(昆布小) ・職場体験学習を2年生での実施に切り替える。R7年度は移行期間として2・3年生で取り組む。(中学校) ・花一会とはじめとした地域の人的物的資源の活用を図る。(中学校) ・3年間を通した地域学習を充実させて旅行的行事の活性化を図る。(中学校)
小学校中学年社会科の町内巡り体験の充実	・旧名駒小の昔の道具見学、各種工場や施設の見学など充実した学習であった。(蘭越小) ・下水処理施設、ゴミ処理施設、消防等の見学も行った。(蘭越小) ・蘭越小学校との合同学習を7月・9月(4年社会科見学)、11月(3年ふるさと学習館)を実施し、体験学習を勧めることができた。(昆布小)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・次年度も2校での合同学習を計画的に推進して内容の充実を図る。(昆布小)

(2) アイヌの人たちの歴史・文化などに関する教育の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
アイヌの人たちの歴史や文化などに関する学習活動、副読本の活用	・積極的に副読本を活用し学ぶとともに、情報機器を活用し疑似体験できるよう学んだ。(蘭越小) ・4年生、6年生において実施し、資料を活かした調べ学習に取り組ませることができた。(昆布小) ・花一会の協力のもとアイヌについての調べ学習を行い、ウポポイ見学を通してアイヌの歴史や文化について考えさせることができた。(中学校)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・今後も継続し、実践の深化を図る。(昆布小) ・ウポポイ見学の継続や、花一会とICTの融合などアイヌ学習の充実を図る。(中学校)

(3) 北方領土に関する教育の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
北方領土に関する学習活動、資料を活用した調べ学習の取組	・資料をもとに島名、位置、歴史等について学び、成果をまとめるなど、児童の興味・関心に応じて調べ学習に取り組むことができた。(蘭越小) ・社会科の授業で、資料を活用して、調べ学習を行い、主体的に学習に取り組ませることができた。(昆布小) - 社会科において、資料を活用した学習を行った。(中学校)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・効果的な資料の活用及び調べ学習の充実を図る。(昆布小) - 調べ学習を含めた学習を展開する。(中学校)

施策項目 7 読書活動の推進

目 標

すべての子どもが、人生をより深く生きる力を身に付けられるよう、自主的な読書活動のための環境整備を図る。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年	R 5	R 6	目標 (R 6)
幼児・児童・生徒 1 人当たりの年間図書貸出冊数	学校図書における、町内児童・生徒 1 人当たりの図書貸出冊数	小 19.0 冊 中 3.9 冊 (H30)	小 11.4 冊 中 4.5 冊	小 11.5 冊 中 0.0 冊 (R 6 中学校図書室閉鎖)	小 25 冊 中 5 冊
読書が好きな児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査において「読書は好きですか」という設問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した町内小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 73.1% 中 72.2% (R1)	小 66.7% 中 71.9%	質問項目なし	小 80% 中 80%
家庭での読書の状況	全国学力・学習状況調査において「家や図書館で普段 1 日当たりどれくらいの時間読書しますか」に対して「10 分以上」と回答した町内小学 6 年生、中学 3 年生の割合	小 73.0% 中 61.1% (R1)	小 54.5% 中 62.5%	質問項目なし	小 80% 中 70%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校図書館や花一会図書館の利用促進

① 令和 6 年度の取組の概要	② 令和 6 年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校図書館の利用促進と花一会図書館との連携	・学校と花一会図書館との連携がしっかりとれているので、学校図書館の管理運営や授業での図書利用が充実していた。(蘭越小) ・花一会図書館の巡回指導により、学校図書館を有効に利用した学習活動を行うことができた。また、各教科での図書活動や利用の推進を行うこともできた。(昆布小) ・各教科の年間指導計画に花一会との連携を計画した。ブックトーク、広がる本だな事業、国語に置ける P O P 作成、総合的な学習の時間におけるアイヌ学習への資料提供など、学校図書の利用促進に花一会図書館が大きな役割を果たした。(中学校)	・これからも連携を密にして、利用促進を図る。(蘭越小) ・図書館活用年間計画をもとにした利用促進を図る。(昆布小) ・年間計画に沿って、さらなる花一会図書館との連携を図る。(中学校)

(2) 学校図書館の環境整備

① 令和6年度取組の概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校図書館の充実整備	・花一会図書館の協力により、管理運営がなされた。(蘭越小) ・花一会図書館に御協力いただき、図書の整備を計画的に行うことができた。(昆布小) ・花一会図書館と連携して、生徒の興味関心に即した図書の整備を進めることができた。(中学校)	・今後も継続していく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・新しく整備された図書館の有効活用を図り読書意識の向上に努める。(中学校)

(3) 家庭での読書環境づくりの啓発

① 令和6年度取組の概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
家庭・地域・学校等の連携推進	・地域の団体による読み聞かせのほか、朝の活動で読書に学校全体で取り組み、読書習慣の定着を図ってきた。(蘭越小) ・読書週間の定着に向けて課程への啓発を進めてきた。(昆布小) ・花一会からの新刊案内の配付や、定期的な学級文庫の入替、長期休業中の図書の貸し出しなどを行い読書習慣の啓発活動を行った。(中学校)	・保護者に向けて家での読書について啓発していく必要がある。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・情報機器の利用と読書習慣の融合を目指す。(中学校)

施策項目 8 生徒指導・教育相談の充実

目 標

家庭や地域との連携を一層強化し、共感的な理解に基づく児童生徒理解や評価を工夫するなど、自己指導能力を育てる生徒指導の充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年	R 5	R 6	目標 (R 6)
いじめの解消の状況	文部科学省調査の「いじめの認知件数」のうち、「解消しているもの」の割合	小 100% 中 100% (H30)	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	引き続き 100%をめざす
いじめに対する意識	全国学力・学習状況調査結果において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」という問いに対して「当てはまる」と回答した町内小学校6年生、中学校3年生の児童生徒の割合	小 93.8% 中 77.8% (R1)	小 85.7% 中 83.3%	小 93.8% 中 97.0%	すべての学校で 100%をめざす
ネットトラブルの未然防止の取組状況	携帯等の利用に関する「家庭内でのルール」等の整備状況	未実施 (R1)	未実施(情報通信機器活用に関する注意喚起は実施)	未実施(情報通信機器活用に関する注意喚起は実施)	利用(所持)家庭のすべてで 100%をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校における相談体制の充実や家庭・地域社会との連携を通じた生徒指導の充実

① 令和6年度取組概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スクールガードリーダーの巡回 (小学校)	・定期的に巡回していただき、大きな事故もなかった。(蘭越小) ・スクールガードリーダーが定期的に巡回を行った。(昆布小)	・これからも継続して子どもたちが安全に登下校できる取組を行う。(蘭越小) ・スクールガードリーダーと連携し、効果的・効率的な安全指導を行う。(昆布小)
スクールカウンセラー配置 (中学校)	・年間を通して家庭への支援相談、教職員への助言や情報交流を行った。学校だよりで家庭や生徒へ周知を行い、授業参観による生徒交流も行ったが、実際の活用は少なかった。(中学校)	・生徒と親しむ機会を増やしたり、生徒や家庭への周知方法を工夫する。また、設置されたオンラインカウンセリングの活用拡大を図る。(中学校)

(2) いじめや不登校、暴力行為など児童生徒の問題行動の未然防止・早期対応

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
いじめアンケートの実施等	・いじめアンケートは2回実施し、アンケートをもとに早期発見に努めた。(蘭越小) ・年2回のアンケートを実施し、いじめの未然防止や早期発見、解決につなげることができた。(昆布小) ・いじめの定義とアンケートの意義を参観日の全体懇談で保護者全体に周知した。また、いじめアンケート結果を学校だよりで周知した。(中学校)	・これからも未然防止、早期発見に努める。(蘭越小) ・今後も継続し、未然防止に努める。(昆布小) ・いじめの根絶に向けて、あたたかい学校の雰囲気づくりを学校全体で図る。(中学校)
教職員全員による教育相談等の取組	・アンケートをもとに教育相談を行い、内容を共有した。(蘭越小) ・アンケートをもとに教育相談を実施し、教職員間の情報共有に努め、未然防止や早期発見に努めた。(昆布小) ・全校生徒対象でどの先生にも相談できる教育相談を年に2回実施。また、ハイパーQ Uを2回行い、生徒の実態把握に努めた。(中学校)	・これからも未然防止、早期発見に努める。(蘭越小) ・全職員で相談内容を共有し、問題行動の未然防止に努める。(昆布小) ・昨年同様の取り組みを継続する。(中学校)

施策項目 9 体力・運動能力の向上

目 標

学校生活や家庭生活を通じ、日頃から運動に親しませ、体力をしっかりと身につけさせる。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
児童生徒の体力・運動能力の状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の総合得点の町内児童生徒の値 (小学5年生、中学2年生)	全国平均と比較し、小学生はやや上回り、中学生は同程度	小5男 やや上回る 小5女 上回る 中2男 ほぼ同じ(上位) 中2女 下回る	小5男 やや上回る 小5女 やや上回る 中2男 下回る 中2女 下回る	小中学校ともに全国平均を上回る
体育の授業以外での運動・スポーツの実施状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、普段の一週間で学校の授業以外で行う運動やスポーツの実施時間	小男 12.8 時間 小女 5.2 時間 中男 13.4 時間 中女 13.0 時間	小男 8.6 時間 (全国 9.1 時間) 小女 4.9 時間 (全国 5.4 時間) 中男 17.6 時間 (全国 12.2 時間) 中女 7.4 時間 (全国 8.4 時間)	小男 10.3 時間 (全国 9.2 時間) 小女 6.8 時間 (全国 5.5 時間) 中男 9.5 時間 (全国 12.5 時間) 中女 8.3 時間 (全国 8.6 時間)	小男・中男女は現状維持、小女は全国平均

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 体育・保健体育授業の改善

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
児童・生徒の体力、運動能力の把握と課題への対応	・体育係が中心となり、全学年実施した。記録は蓄積し、活用している。蘭小サーキットを行い、体育授業の改善にも取り組んだ。(蘭越小) ・全校児童で新体力テストを実施し、分析結果を生かし、その後の体育授業の改善に取り組んだ。(昆布小) ・全国体力運動能力テストを実施し、分析を元に教職員で共通理解を図った。また、経年変化をもとに自分事として自ら運動能力や体力を向上させるように取り組んだ。(中学校)	・今後も継続していく。(蘭越小) ・今後も分析結果を活用した授業改善に取り組む。(昆布小) ・生徒の運動能力の把握や、効果的な能力向上に努める。(中学校)
体育科以外での運動機会の提供	・朝の活動での運動(低学年)、休み時間に体育館、グラウンドでの遊びのほか長縄、短縄、等取り組んだ。(蘭越小) ・休み時間や放課後にマラソンやクロカンに取り組むとともに、放課後子ども教室やスポーツ少年団と連携し、運動の機会提供に努めた。(昆布小) ・部活動の推進、昼休みの体育館開放を日常的に行った。また、体育大会前には長縄跳び練習を実施するなど体力の向上を図った。(中学校)	・今後も実施していく。(蘭越小) ・今後も運動機会の提供に努める。(昆布小) ・保体専門委員会を活用して生徒自ら運動意欲の向上を図るよう取り組む。(中学校)

(2) 少年団活動・運動部活動の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
部活動支援員の活用(中学校)	・部活動支援員を活用し、専門的な指導を行うことにより技術の向上や練習方法の工夫など、部活動の活性化に大きな役割を果たした。また、教職員の業務削減に大いに貢献した。(中学校)	・地域移行を推進し、地域展開につなげられるよう連携を強化する。(中学校)
スポーツ少年団活動の実施(小学校)	・サッカースポーツ少年団、ジュニアサッカークラブ、野球少年団がグラウンド、体育館を利用して活動を行っている。(蘭越小) ・陸上競技など外部講師を招聘し、活動を行うとともに、各種大会への積極的な参加を促した。(昆布小)	・これからも各少年団と連携を図り、活動を支援する。(蘭越小) ・社会教育と連携し活動の継続を図る。(昆布小)

(3) 運動・スポーツ施設の整備と運動機会の充実

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
体育施設・用具の充実	・体育係を中心に、体育器具室の整備・点検を実施した。定期的な屋体の屋上清掃等、施設管理が必要。(蘭越小) ・設備や遊具の点検を行い、事故の無いように留意している。クロスカントリー用具については、現状の物品を継続して活用している。(昆布小) ・用具の購入等はなかったが、昨年度寄贈されたデジタルスポーツカウンターを体育授業や部活動において有効に活用した。(中学校)	・今後も継続していく。(蘭越小) ・クロスカントリー用具は児童数に対応できる範囲になっているので、現在ある物を計画的に更新していく。(昆布小) ・引き続き状況を勘案し更新が必要な備品を購入し、環境整備に努める。(中学校)

施策項目 10 食育の推進

目 標

学校・家庭・地域がお互いに連携しながら、児童生徒に食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、健全な食生活を実践できる資質や能力の育成に努める。

また、安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理の徹底を図るとともに、地場産物食材の積極的な活用に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
児童生徒の朝食摂取の状況	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「朝食を毎日食べていますか」の設問に対して、「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童・生徒の割合	児童=95.0% 生徒=90.9%	児童=96.1% 生徒=93.4%	児童=100% 生徒=90.9%	100%をめざす
学校給食における地場産物の活用状況	学校給食における地場産物の購入状況(購入額における割合)	7.80%	8.02%	8.15%	12%以上をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育における食育の推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
・各学校と連携・協力し、食事の重要性やマナー、望ましい食事の摂り方の授業の実施	- 食に関する授業については蘭越小で6回、昆布小で5回、中学校で3回実施した。 - 栄養教諭は、食育や給食の献立及び栄養管理等の本来業務を最優先し、授業は学級担任や養護教諭と連携して取り進めた。	・各学校の指導計画に基づき、学級担任や養護教諭等と連携を密にしながら年1回以上の食育教育を実施する。

(2) 地域に根ざした食育の推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
- 給食だよりには、食材の産地などの表示を実施 - 行事食の積極的な取り入れ	- 給食だよりには産地名など記載し、道内産や地場産など食材を身近なものと感じてもらうように取り組んだ。町のホームページから閲覧できるようにして、保護者への周知機会確保に努めた。 - 地場産野菜の使用を可能な限り優先した。8月にJAようていトマト生産組合蘭越支部からトマト576個、10月にJAようてい青年部蘭越支部から特別栽培米ななつぼし54kg、11月に蘭越小学校5年生からゆめぴりか30kgの寄贈を受け、給食で提供した。 4月入学お祝いデザート、5月こどもの日デザート、7月七夕献立、12月クリスマス献立など行事食を取り入れた。	JA、地元納入業者等と連携調整し、引き続き積極的に地場産品を活用する。

(3) 学校給食における衛生管理の徹底

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
保健所による一斉点検の指摘事項等の早期改善	- 保健所の監視・指導(R6.8)による指摘事項は、調理員に周知した。 - 器具備品等に関するものは、衛生面等を考慮し随時更新した。	- 調理員を研修会に参加させるなど、衛生管理の意識の高揚に努める。 - 器具備品等の管理を徹底し、適切な時期に更新する。

施策項目 11 学校段階間の連携・接続の推進

目 標

児童生徒の発達段階に応じた教育の充実を図り、小中一貫教育の推進や、幼保小、小中、中高の学校段階間の円滑な接続や教科等横断的な学習を重視する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
小中の連携 の状況	教職員による合同研修の実施状況	年1回	町教研各部署 による合同研 修を実施(各部 会2～4回)	町教研各部署 による合同研 修を実施(各部 会3～7回)	年2回実施
乗り入れ授 業の実施状 況	中から小、高から中への英語の乗 り入れ授業の実施状況	未実施	中→小 乗入授業各2回 交流授業各3回 高→中 交流授業 2回	中→小 乗入授業各1回 交流授業各1回 高→中 交流授業 1回	年2回実施
乗り入れ授 業、交流授 業の実施状 況	小・中双方の教員による授業公 開・授業交流、高校教員による中 学校の授業参観の実施状況(英語 科以外の教科)	授業公開 年1回 授業交流 未実施	授業公開 各小学校2回 (内1回学習発 表会) 中学校4回 授業交流 1回 (昆布小・中学 校→蘭越小)	授業公開 各小学校2回 (内1回学習発 表会) 中学校4回 授業交流 1回 (蘭越小・中学 校→昆布小)	授業公開年2回 授業交流年1回

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 9年間を見通した教育課程の編成

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
発達段階に応じた系統的な教育課 程の編成	・教育課程交流会の中で年間行事予定や総合的な学習の計画を交流し、町内での義務教育が系統的な内容になるよう検討した。(蘭越小) ・教育課程交流会を4回実施し、町内での義務教育が系統的な無いようになるよう検討を行った。(昆布小) ・教育課程交流会において、系統立てたあたたかい学級経営や、総合的な学習の時間の在り方について交流・整理を行った。(中学校)	・継続していく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・探究活動を取り入れた総合的な学習の時間について、R7年度より改変していく。(中学校)

(2) 発達段階に応じた系統性のある学習規律や生活のきまりの定着

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
発達段階に応じた系統性のある学 習規律や生活のきまりの定着	・「よくわかる蘭越小」を作成し、町内で共有した。(蘭越小) ・発達段階に応じた学習規律の徹底・改善と、生活リズムチェックシートによる生活習慣の改善に取り組んだ。(昆布小) ・町教研の小中連携部会において、発達段階に合わせた学習規律として、授業中に机に置く物や学習のルールを策定し、各教科のオリエンテーション資料に記して生徒に指導した。また、話し方や聞き方について9年間を見通した、身に着けさせたい力について確認した。(中学校)	・継続していく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・中1ギャップの解消に向けて、小中での連携を継続する。(中学校)

施策項目 12 学校運営の改善

目 標

教職員が子どもと向き合う時間を確保できるよう、多忙化の解消に向けた働き方改革を推進するとともに、学校のマネジメント機能の強化を図り組織として教育活動に取り組む体制を構築する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
在校時間から勤務時間等を減じた時間	教職員の在校時間から条例で定める勤務時間等を減じた時間数を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内	調査未実施	一部の教員においては達成できていない	一部の教員においては達成できていない	100%
定時退勤日の実施状況	業務改善や勤務時間の意識化による月2回の定時退勤日の実施状況	調査未実施	完全実施	完全実施	100%
部活動休養日の実施状況	特別な場合を除いて、平日1日、土・日どちらか1日の部活動休養日の実施状況	調査未実施	完全実施	完全実施	100%

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 教職員の時間外勤務等の縮減に向けた「蘭越町アクションプラン」の取組

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校閉庁日や定時退勤日等の取組	・夏期6日、冬季9日計15日閉庁日を設定した。また毎週金曜日を定時退勤日として設定した。(蘭越小) ・夏季休業中に6日、冬期休業中に8日、計14日間の学校閉庁日を設定した。また、月2回の定時退勤日を設定し取り組んだ。(昆布小) ・閉庁日を夏季休業中に6日間、冬季休業中に8日間設けた。また、定時退勤日を毎月2回設定した。(中学校)	・さらなる業務内容の見直しを図りつつ、各々に合った勤務形態を探っていく。(蘭越小) ・普段から定時退勤ができるよう計画的な業務推進に努める。(昆布小) ・緊急の場合を除き、定時退勤に向けて業務軽減や計画的業務推進を徹底する。(中学校)

(2) 部活動の改善に向けた「蘭越町立学校に係る部活動の方針」の取組

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生徒のバランスのとれた学校生活や教師の部活動指導における負担軽減(中学校)	・閉庁日の設定により休日の休養日が取れるようになり、生徒・教職員の負担軽減につながった。	・家庭での時間を有効に使うために保護者との連携や共通理解が必要。

施策項目 13 学校安全教育の充実

目 標

自他の生命尊重の理念に基づいて、児童生徒が自ら危険を予測・回避し、他の人や社会の安全に貢献できる資質能力を育成する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
安全学習	学校安全の全体計画を策定し、各教科の年間指導計画に計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った学校の割合	全体計画、年間指導計画において位置付けを行っているが、計画性、系統性が不十分	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った。(全小中学校)	計画的、系統的に学習内容を位置付けた授業実践を行った。(全小中学校)	100%をめざす
安全指導	家庭や地域、社会教育と連携し、学級活動、学校行事などにおいて安全に生活する態度を育成する活動を行った学校の割合及び実践事例	家庭や地域、社会教育と連携した安全に生活する態度を育成する実践が不十分	関係機関と連携し、一定の実践ができている(全小中学校)	関係機関と連携し、一定の実践ができている(全小中学校)	100%をめざす 実践事例の蓄積 【連携団体】 ・後志振興局(防災担当) ・警察署 ・消防署 ・町交通安全担当 ・町教委スクールガードリーダー

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 安全学習

① 令和6年度の実施概要	② 令和6年度の実施の成果や課題	③ 今後の方向性
学習活動における実施	・年間指導計画にもとづき、発達段階に応じて教育活動の中で実施した。(蘭越小) ・各教科の学習の中で、計画を元に安全学習を行った。(昆布小) ・保健体育科で障害や事故の防止、家庭科で食の安全、技術科で安全な用具の取り扱いについて学習した。(中学校)	・計画の改善、見直しをしつつ、これからも実施していく。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・実生活と教科での学習を関連させ、安心して安全な生活を送るよう啓発する。(中学校)

(2) 安全指導

① 令和6年度の実施概要	② 令和6年度の実施の成果や課題	③ 今後の方向性
学校生活や学級活動、学校行事における実施	・普段から学級活動などで学校生活内のほか登下校等における安全についての指導、啓発を行った。また各関係機関と連携を図り、歩行教室、自転車教室等の安全指導を実施した。(蘭越小) ・学級活動や、交通安全教室などの学校行事で安全指導を実施した。(昆布小) ・交通安全教室、防犯教室などの特設授業の他、日常の学校生活を安心・安全に送るよう指導した。(中学校)	・これからも継続、改善して実施していく必要がある。(蘭越小) ・今後も継続していく。(昆布小) ・行事や学期の終わりなど、節目において安全に学校生活を送ることができたか振り返るよう指導する。(中学校)

(3) 防災教育

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
避難訓練の実施	・年間計画にもとづき、避難訓練を2回実施。その他集団下校にかわる「引き渡し下校訓練」を実施。隔年実施の土砂災害を想定した訓練を実施した。1日防災学校も実施。(蘭越小) ・火災、地震、不審者などの想定で、避難訓練を実施した。(昆布小) ・年に2回の避難訓練(火災・地震)を実施した他、一日防災教室において避難所運営ゲームを行い防災意識の高揚を図った。(中学校)	・これからも自分自身の身を守るため、最悪の事態を想定した訓練を実施していく必要がある。引き渡し下校訓練については、学年ごと行ったが、今後は全学年一斉に行っていく。(蘭越小) ・今後も内容の改善や想定の変更を行いながら継続していく。(昆布小) ・継続して計画的に実施する。(中学校)

施策項目 14 学校と地域の連携・協働の推進

目 標

学校と地域が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育んでいくため、学校と地域がパートナーとして連携・協働した組織的な取組の推進。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
地域への参加の状況	全国学力・学習状況調査の「今住んでいる地域への行事に参加していますか」に、「ある・どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	「地域社会などでボランティア活動に参加したことはあるか」に対して「ある」と回答した児童生徒の割合 小 74.2% 中 69.2%	小 85.7% 中 25.0%	質問項目なし	「地域社会などでボランティア活動に参加したことはあるか」に対して「ある」と回答した児童生徒の割合 小 90%以上 中 90%以上
地域とのかかわりの状況	全国学力・学習状況調査の「地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったか」に、「ある・どちらかといえばある」と回答した児童生徒の割合	小 90.3% 中 82.1%	質問項目なし	質問項目なし	小 100% 中 100%
コミュニティ・スクールの導入	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、各学校において効果的な運用を図る	未導入	導入	導入	導入

点検・評価の課題と今後の方向

(1) コミュニティ・スクールの導入・推進

① 令和6年度の取組概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域の教育力や特色を活かした学校づくり・子どもの活動拠点づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進	・コミュニティスクール学校部会では、コミュニティスクール委員が児童の活動写真への「応援メッセージ」を添える取組を通して、「学校の応援団」として活動できた。(蘭越小) ・学校経営案や学校評価など、コミュニティ・スクールの機能を進められた。(昆布小) ・各行事において学校運営協議会中学校部会の方に案内を出し、参加した上で学校運営協議会を開催した。(中学校)	・地域と学校の連携をさらに深めていく。(蘭越小) ・学校部会ごとの活動を活性化し、特色有る学校づくりを進めていく。(昆布小) ・儀式行事や参観日、体育大会、学校祭など参加機会を増やしてコミュニティスクールの機能充実を図る。(中学校)

(2) 特色ある学校づくりの推進

① 令和6年度取組概要	② 令和6年度取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校と地域をつなぐ人材の活用した特色ある学校づくり	・総合的な学習での「米プロジェクト」、花一会図書館の「広がる本だな」等地域人材を活用した取組を行った。(蘭越小) ・総合的な学習の時間で、地域の人事を活用するなどして、地域の特性を再認識する授業を行った。今年度の活動における地域人材の人材バンクを作成した。(昆布小) ・花一会図書館の協力のもと、ブックトークや広がる本だな事業などを行ったり、蘭越町防災監の協力のもと港地区防災センター見学を行った。(中学校)	・これからも継続していく。(蘭越小) ・地域人材が活用しやすい人材バンクの整備を続ける。(昆布小) ・地域学校協働活動推進員の活用を活性化させ、地域に根ざした教育の推進を図る。(中学校)

施策項目 15 地域に根ざした高校づくりに向けた支援

目 標

蘭越高校で学びたい、学ばせたいという認識と蘭越高校が地域に欠くことのできない学校であるという認識の醸成による入学者の確保。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年	R 5	R 6	目標 (R 6)
蘭越中学校からの蘭越高校への入学率	高校存続に向け、地元の生徒の入学率の維持向上	10% (10/40 人) (R1)	37.3% (10/27 人)	41.6% (15/36 人)	33%
学校間連携による外国語の授業の実施	高校の教員・生徒による幼保小中への乗り入れ授業、T T※等の実施	未実施 (H30)	高→蘭越小 1 回実施 高→昆布小 1 回実施 高→中学校 2 回実施	高→蘭越小 1 回実施 高→昆布小 1 回実施 高→中学校 実施なし	すべての校種での実施を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生徒募集に向けた効果的な支援

① 令和 6 年度 of 取組概要	② 令和 6 年度 of 取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生徒のニーズや資質を把握したきめ細かな学習指導や進路指導	3 年間を通してキャリア教育を実施し、生徒自身が様々な職業について学ぶことで、自分の特性や興味関心のある職業について考える機会を設定した。また、教育相談等を通じて細やかな進路指導に努めた。(中学校)	自らの進路を考える上で蘭越町との将来的な関わりに目を向けられる進路指導の充実を図る。(中学校)

(2) 連携した外国語教育の充実

① 令和 6 年度 of 取組概要	② 令和 6 年度 of 取組の成果や課題	③ 今後の方向性
保育所・幼稚園・小学校・中学校・高校が連携した外国語教育の充実	・中学校の教諭、高校の教諭が授業を行うことで、専門性の高い授業を行うことができた。(蘭越小) ・中学校教員、高校教員の外国語授業への乗り入れを行った。(昆布小) ・ワーキングチーム会議を年 2 回実施した。また、乗り入れ授業、授業参観、授業交流など他校種と連携して外国語教育の充実を図った。	・ワーキングチームが中心となり、スムーズな橋渡しを行うことができた。今後も系統性を持った取組を各校種無理のない程度で進めていくのが望ましい。(蘭越小) ・高校の負担にならない範囲で、連携が進められるように配慮する。(昆布小) ・持続可能な取り組みとなるようきめ細かく引継ぎを行い事業の推進を図る。

施策項目 16 家庭の教育力の向上

目 標

子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた取組みを促進し、親子と地域のつながりをつくる取組みを行いながら、社会全体で支える体制づくりを進めます。また、子育て中の保護者が、気軽に悩みを共有できるきっかけになる場の提供に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標(R6)
家庭教育に関する適切な情報提供	専門家の視点での情報提供回数	町広報紙の生涯学習情報コーナーに、年5回掲載	年5回 (継続掲載)	年6回 (継続掲載)	年5回 (継続掲載)
相談体制の整備	家庭教育に関する専門相談窓口の紹介	ポスター掲示による専門相談窓口の紹介	継続	継続	町HPからのリンク
学習機会の充実	町青少年健全育成推進委員会や町PTA連合会との連携により開催している「青少年健全育成研究集会」の内容	毎年、講演内容や生徒発表のテーマを変え実施	継続	継続	学校・家庭・地域が相互学習できる場になるよう、内容充実に努める。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 家庭教育に関する適切な情報提供

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
定期的な家庭の教育機能の回復に役立つ情報の提供	子育て相談「親御さんから学んだこと」として、質問コーナーを設け、町広報紙の生涯学習コーナー「こぶしにまなぶ」に掲載し、情報提供やQ&Aを行った。	令和7年度も引き続き、子育て等に関する内容で紙面に掲載する。

(2) 相談体制の整備

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子育てに不安や悩みを持つ保護者からの相談に応えるため、関係機関や専門家による相談窓口を紹介	ポスター掲示、パンフレットを活用し、関係機関や相談窓口の紹介を行った。	当初の目的が達成したと思われることから、相談内容によっては担当課で対応する。

(3) 学習機会の充実

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校・家庭・地域が連携し、家庭教育に関する学びや悩みを共有し、対象者が集まりやすい学習機会の提供	青少年健全育成研究集会兼町PTA連合会研究大会を開催し、専門家を講師に学校と地域を結ぶ関りについて、地域住民が積極的に学校運営に参画する必要があることのお話をいただいた。	家庭・学校・地域が相互学習できる場になるよう、内容の充実に努める。

施策項目 17 子育て支援の充実

目 標

地域の力を結集して、子育て支援の取組みを行い、地域全体で子どもが見守られているという安心感を保護者に与えられる体制整備を進めるとともに、子育てを支援する地域の人材発掘と育成に努めます。また、参加しやすい親子コミュニケーションの場の提供に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標(R 6)
子育て中の親子の交流機会の提供	就学前親子交流事業「まめっこクラブ」の参加世帯数	まめっこクラブ7世帯(30世帯中)	会員登録制を止め、その都度、参加者の募集	会員登録制を止め、その都度、参加者の募集	まめっこクラブ就学前年長児世帯数の3割をめざす
地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進	放課後子ども教室の週開設日	家庭・学校・地域の関係団体の協力のもと、放課後子ども教室の開設日を週5日まで拡大した	維持	維持	放課後子ども教室の週5日開催(維持)

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 子育て中の親子の交流機会の提供

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子ども同士の交流と保護者の仲間づくりの機会を提供	全2回の事業を実施。都度、自分たちのニーズ合わせた事業の参加で行った。	親子、世代間交流を図るため、「もの」作りや「食育」をテーマに事業を展開していく。

(2) 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域や学校の実情を踏まえながら、放課後の子どもたちが安全安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点づくりに努める	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを進めるため「昆布小学校放課後子ども教室」を開設。H29年度から週5日開設。 放課後子ども教室用の感染防止マニュアルに従い、感染防止対策をとりながら状況によっては、分散による活動を実施した。 開設日数 191日 当初予定 190日 会員数 昆布小学校児童 53人 (全校児童 53人)	地域や学校の実情を踏まえ、放課後の子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な活動ができるよう子どもの活動拠点を維持する。

施策項目 18 多種多様な学習機会の充実

目 標

学んだ成果が生かされる各種体験教室や各種講座の継続開催に努め、障がいの有無を問わず、だれもが学びのきっかけとなる学習機会を提供します。また、多様な学習ニーズに応じることができるよう、様々な分野の知識や技術、技能を持って活動している人材の把握に努めるとともに、生涯学習の概念が定着してきたことから、生涯学習フェスティバルのあり方を見直します。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
生涯学習活動の充実	学んだ成果を生かす場の提供	サークル・団体の協力を得ながら、各種体験教室や各種講座を開催している	町民センター講座の開催 (人数制限での実施)	町民センター講座の開催 (人数制限での実施)	学んだ成果を生かす場の効果的な開催をめざす。
学習情報の提供	町広報紙への生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の掲載回数	年12回	年12回	年12回	年12回 (継続)

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 生涯学習活動の充実

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
日頃の学習成果を発表、紹介する機会を提供する	令和元年度の開催を最後に、生涯学習フェスティバルを終了したことから、各種講座(教室)を開催し、体験と発表の場を設けるよう努めた。 ・町民センター講座 12講座 ※初心者竹細工教室中止	当初の事業計画ほか、ニーズや要望、情報収集を行い、実施が可能なものは、取入れながら開催する。

(2) 学習情報の提供

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
身近な生涯学習の取組みを紹介し、町広報紙の生涯学習情報コーナー「こぶしにまなぶ」の内容充実を図る	教育委員会や関係機関・団体が実施した事業など、身近な生涯学習活動を紹介したほか、家庭教育通信を継続して掲載した。	広報紙との統合で紙面割を考察すると、情報の提供や報告が、重複掲載となることから、他の課局と同じように、情報の提供で、紙面作成をしない方向で検討したい。

施策項目 19 生涯学習体制の充実

目 標

生涯学習推進委員会の各部会を中心に、生涯学習推進計画「らんらんプラン21」の定期的な点検を継続するとともに、生涯学習ボランティアを育成、活用する体制づくりに努めます。また、庁内関係部署や関係機関において様々な視点で開催されている町全体の生涯学習に関する事業を把握し、学習機会の情報提供を行います。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標(R6)
学習機会の 情報提供	生涯学習カレンダー(年間予定表)の発行月	4月発行	4月発行	廃止	4月発行
生涯学習推進体制の 充実	生涯学習推進計画の定期的な点検・評価・改善の継続	年度末に点検、評価を行い、次年度の計画に反映させている	継続	継続	継続

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学習機会の情報提供

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生涯学習に関連する様々な事業の年度日程を把握した生涯学習カレンダーを発行し、年間を見通した学習機会の情報を提供する。	廃止	役場課局では、現下で町HPに入力できることから、「町のイベント」情報に掲載することで、多くの方に周知ができるとともに、詳細を掲載(検索)することができる。 ※継続

(2) 生涯学習推進体制の充実

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
生涯学習推進委員会による生涯学習推進計画の定期的な点検確認を行い、生涯学習事業の内容の充実を図る。	生涯学習推進委員会の各専門部会による担当領域事業の評価(前期・後期)を行い、全体会議で各専門部会の評価を共有し、翌年度の取組みへ反映させている。	第7次蘭越町生涯学習推進計画「らんらんプラン」の内容を実行するため、点検、評価、反映のサイクルを維持する。

施策項目 20 生涯各期に社会教育活動の推進

目 標

生涯学習の基礎となる「自ら学ぶ」「学びたい」の動機付けやきっかけとなるよう、より身近な学習機会の提供に努めます。また、高齢化時代に対応した高齢者向けの交通安全教室を行うなど、人生のライフステージにおける課題や学びの方向性を示し、関係機関と連携した事業展開を図ります。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標(R6)
学校教育と連携した活動の推進	学校からの要請により、地域の人材を派遣する	授業補助 スポーツ少年団支援 下校時見守り	小学校教 科学習への支援	小学校教 科学習への支援	派遣する地域人材の把握と育成をめざす。
地域と連携した活動の推進	イングリッシュキャンプの参加人数	38人(125人中)	廃止	デイキャンプの開催。	小学校3～6年の児童数の30%の参加をめざす
いきいきとした学習活動の推進	高齢者学級自主運営	会員の高齢化、会員数の減少	65歳以上の町民を対象に講座を開催	65歳以上の町民を対象に講座を開催	活動内容を精査し、自主運営と事業拡充をめざす

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 学校教育と連携した活動の推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
学校からの要請により地域の人材を派遣する学校支援地域本部事業の充実を図る。	総合的な学習の時間や各種体験活動に人材を派遣した。また、蘭越町交通安全指導員と連携し、下校時見守り支援を実施した。	生涯学習ボランティアバンクの整理を図り、コミュニティ・スクールへの情報提供と地域人材の有効活用を図る

(2) 地域と連携した活動の推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
地域と連携しながら、時代に即した世代間交流を図る。	イングリッシュキャンプを廃止し、実践的かつ、身近に英語を感じてもらうため、デイキャンプを開催。 ・親子 7組15名	令和7年度から、親子を対象に、町民センター講座または生涯学習推進講座で地域人材を活用し時代に即した世代間の交流機会を図る。

(3) いきいきとした学習活動の推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
高齢者のニーズや社会情勢に合わせた講座を開催し、学習意欲の向上を図る。	日常生活が、明るく元気に過ごすことが、できるように講座を開設した。 ・シニア向け防犯教室 25名	社会教育事業は生涯学習課で企画し、その都度、参加者を募る。

施策項目 21 芸術文化活動の推進

目 標

芸術鑑賞や伝統文化に触れる機会を充実させるとともに、地域の文化を担う人材育成の取組みに努めます。また、郷土芸能の後継者育成のための伝承活動支援に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標(R6)
芸術の鑑賞 機会の提供	児童生徒を対象とした舞台 芸術の提供機会回数	年1回	町民を対 象	町民を対 象	年1回(維持)
郷土芸能伝 承活動への 支援	老朽化した道具の更新	太鼓修理 (2 台)	修理・補修 なし	修理・補修 なし	年次計画に より補修を 進める
(仮称) 曲子 光男記念館 の整備	本町出身の日本画家 曲子 光男氏の作品群を活用、保管 するための(仮称) 曲子光男 記念館の整備	(仮称) 曲子光男記 念館検討委員会に おいて、検討中。令 和元年9月答申され た。	庁舎内検 討委員会 の検討終 了	庁舎内検 討委員会 の検討終 了	教育文化活 動への活用 と劣化を防 ぐための収 蔵設備の整 備を進める

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 芸術の鑑賞機会の提供

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
子どもの豊かな感性や個性を 育むために、児童生徒を対象 とした舞台芸術の鑑賞機会を 提供する。	蘭越町芸術文化活動事業として、「文化芸 術による子供育成推進事業芸術家の 派遣事業」を活用し、各小中学校におい て、プロのバリトン歌手を招き、発声練習 などの指導をいただくとともに「校歌」や 「発表曲」を練習し学校祭等で発表した。	6年度から「蘭越町芸術文化 事業」に移行し、個々の芸術 文化鑑賞及び開催事業者に 対し、支援を図る。また、プ ロの演出家を招き音楽の指 導に当たる事業は継続。

(2) 郷土芸能伝承活動への支援

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
郷土芸能保存と伝承を行って いる団体の活動を支援すると ともに、発表機会の提供に努 める。	コロナの規制が緩和したことから、町 内外での祭事、イベント事業に参加 (活動)。	町内外でのイベント事業 の参加に対し、支援と協 力を図る。

(3) (仮称) 曲子光男記念館の整備

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③今後の方向性
山村開発センター改修検討委 員会で、展示及び活用につい て盛込み検討を図る。	検討終了。	山村開発センター改修 検討委員会へ、庁内検 討委員会での検討内容 を提言(答申済)。

施策項目 22 文化財の保存と活用

目 標

地域への愛着や誇りを育むきっかけとなるよう、郷土資料の整備や保存、調査・研究をし、知ってもらう環境の整備に努めます。また収集した、時代とともに姿を消した農業用機具や生活用品の整理と保存を進め、貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう、適切な維持管理に努めます。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現 状 (H30)	R 5	R 6	目標 (R6)
郷土資料の有効活用	小学校の社会科見学での活用	年1回	随時	随時	随時 (維持)
郷土資料の保護と保存	文化財跡地説明板等の設置数	港大照寺遺跡への説明板設置(1か所) (元年：3か所(立川小、立川遺跡、川上賞) R2：1か所(旭台小))	貝殻沢駅通所、初田中学校・三和小学校・港小学校跡地	蘭越駅通所跡、南尻別村役場跡地	年1～2か所ずつ整備する

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 郷土資料の有効活用

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
子どもの頃から、より身近に蘭越町の文化に触れられる学習機会の提供	収集した農業用機具や生活用品等の郷土資料の整理を行い、展示、清掃を行った。	蘭越中学校大規模改修に伴いふるさと学習館内の展示物移設計画を進める。新たな施設へ移行することで利活用を図り事業の展開を図る。

(2) 郷土資料の保護と保存

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
文化財跡地や学校敷地等の説明板を設置し、郷土資料として後世に伝える取組みに努める。	説明板のサイズや形状を設置箇所にあわせ変更し作成した。	記念碑、文化財跡地の標柱等設置を、今後も計画的に整備していく。また、マップを作製し史跡を周知するとともに、活用を図る。

施策項目 23 みんなが集う花一会図書館

目 標

町民や地域のニーズに合った図書資料の選書、郷土の歴史や文化に関する地域資料の収集に努めるとともに、町民の知りたい情報や技術を図書資料を通して支援する、学習・情報拠点としての図書館機能の整備を取り進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R5	R6	目標 (R6)
貸出冊数	個人貸出冊数（年間町民一人当たり）	5.8 冊	8.9 冊	9.0 冊	6 冊（2 ヶ月に 1 冊）以上を目指す
来館者数	花一会図書館年間来館者数	21.8 千人	21.5 千人	23.0 千人	2 万人台の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和 6 年度 of 取組の概要	令和 6 年度 of 取組の成果や課題	今後の方向性
■町民のニーズを捉えた図書資料の選定、収集 （毎週、新刊を含む図書の購入、陳列）	・図書 購入回数 83 回、購入冊数 1,510 冊 選書のバランスに不安がある。 ・雑誌購入 月刊・季刊 24 誌、186 冊 週刊誌（1 誌-利用者僅少）の定期購読を取りやめた。	・資料収集方針、資料選定基準、除籍基準、選書の方法を見直しする。
■月例での館内テーマ展示の実施	・月例で中央、絵本室テーマ展示を 12 回実施。エントランスに話題本、新刊本展示を常設、随時入れ替えして展示した。 ・配架は、常に注意を払うことができていた。	継続する。
■定期的な読書案内の発信	・図書館だよりを奇数月 6 回発行 目にとめて読んでもらうために、郷土探索など読み物的な要素を組み込む 郷土探索の道 歴史探索・探索編 4 回 地域資料の提供を公募しても、応募や提供がなく記事ネタが枯渇。	地域資料の提供の呼びかけを継続する。
■ホームページや SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した図書館情報の発信	・SNS (Facebook, X(旧 twitter), Instagram) で新刊本、館内展示、図書館活動状況を随時発信した。	SNS、ホームページとも発信情報がマンネリ化しないよう、発信情報の多様化に留意する。
■図書館講座（絵本講座、趣味の講座等）の開催	・4/13 「もう迷わない！本物の健康情報②どのアブラが体に良いの？」（講師：中村紫乃 氏）18 名 ・5/1 「ママにもできる！チャイルドカット」(第 1 回)（講師：照井正和 氏（美容室 KAZU））8 名 ・7/6 小寺卓矢氏講演会「森が教えてくれたこと」～開催協力（主催：本との	・4/30 「もう迷わない！本物の健康情報④電磁波対策」 ・5/17 「ママにもできるチャイルドカット」 ・6/7「ポーズをしないヨーガ part4」

	楽しい出会いを創る会ー子どもゆめ基金助成事業) 58 名 ・ 8/21 兼町民センター講座「工房ヒゲキタのプラネタリウムがやってくる！」(講師:「工房ヒゲキタ」北村満氏主宰) 116 名 ・ 9/28「ポーズをしないヨーガ」(講師:藤原千波 氏) 3 名 ・ 10/7 ハープ&朗読の会(ハープ演奏:更科理恵氏、朗読・オカリナ演奏:工藤ひろ子氏) 20 名 ・「もう迷わない!本物の健康情報③病気の治し方と防ぎ方」(講師:中村紫乃氏) 6 名 ・ 11/30 「ママにもできるチャイルドカット」(講師:照井正和 氏(美容室 KAZU)) 7 名 ・ 12/14 「ポーズをしないヨーガ part2」(講師:藤原千波 氏) 4 名 ・ 3/8 「ポーズをしないヨーガ part3」(講師:藤原千波 氏) 1 名	・ 6/28 児童作家指田和氏講演会 ・ 10/4 ハープ&朗読の会 ・ 10/18 マタギ作家黒田未来雄氏講演会
■図書館祭り等の各種催し物の開催	・ 7/13 第 7 回蘭越ブキニスト開催 テーマ「図書館ではっけん!」、参加店舗・ブース 21 店舗 来場者約 300 人	7/6 に開催 テーマ「図書館で感じる!」
■図書館ボランティアの協力による定期的なおはなし会の開催	・ ぴよぴよおはなし会～月 1 回(第 1 金曜日)、乳幼児親子を対象に職員によるおはなし会を実施 11 回 延 23 組 48 人 ・ おはなしひろば～月 1 回(第 3 日曜日)、すべての町民を対象に職員とボランティアによる読み聞かせ等を実施 10 回 延べ 33 組 95 人 ・ おはなし会、おはなしひろばとも集客が課題、他行事とのバッティングもあった。	「ぴよぴよおはなし会」は偶数月第 1 金曜日、奇数月第 1 土曜日に開催する。

施策項目 24 外に飛び出す図書館活動

目 標

乳幼児から高齢者まで、あらゆる機会とあらゆる場所において読書活動ができるよう、移動図書館や施設内文庫の設置などの図書館活動を積極的に取り進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R5	R6	目標 (R6)
施設内文庫配本冊数	施設内文庫設置箇所数、年間配本冊数(学校除く)	10 か所 3,403 冊	15 か所 6,924 冊	15 か所 7,038 冊	10 か所、 3,500 冊以上を目指す
学習支援資料提供数	小中学校授業支援提供図書年間冊数(児童・生徒一人当たり)	小学校 8.8 冊 中学校 2.3 冊	小学校 8.6 冊 中学校 1.2 冊	小学校 4.9 冊 中学校 6.5 冊	小学校 10 冊以上、中学校 4 冊以上を目指す
学級文庫配本回数	小中学校の学級文庫への年間配本回数	5 回	昆布小 5 回 蘭越小 5 回 中学校 5 回	昆布小 5 回 蘭越小 5 回 中学校 2 回	年間配本回数(5 回)の維持を目指す

点検・評価の課題と今後の方向

令和 6 年度の取組の概要	令和 6 年度の取組の成果や課題	今後の方向性
■ブックスタート事業の 15	・ブックスタート 健やか健診時偶数月 6 回実施、14 組に絵本 2 冊を贈呈 対面できないことや時間が確保できないこともあった。 ・ブックセカンド 3 歳児を対象として随時実施、15 組に絵本 1 冊を贈呈 対象者の来館が減少。対象者 36 組中 15 組しか実施できなかった。	・ブックスタート～3 か月検診時だけにこだわらず自宅訪問等も含めて検討する。 ・ブックセカンド～令和 7 年度は従来の方法で継続して対象者の来館推移をみてから検討する。
■幼稚園・保育所、子育て支援センター施設内文庫の設置	・ひばり幼稚園 9 回 1,264 冊 ・昆布保育所 6 回 521 冊 ・蘭越保育所 6 回 1,515 冊 ・支援センター 5 回 298 冊 ・昆布温泉病院保育所 4 回 174 冊 ・ベアーズこども園 6 回 256 冊	・各保育所、幼稚園、ベアーズこども園と連携して、小さい頃から図書館に慣れ親しんでもらえるよう取り進める。
■放課後子ども教室・学童保育所への移動図書館の実施、施設内文庫の設置	・子ども教室 16 回 771 冊(文庫設置 5 回 185 冊) ・学童保育所 12 回 337 冊(文庫設置 12 回 190 冊)	・移動図書館で読み聞かせ、ブックトークなどを行い、読書に親しむ機会を積極的に設けていく。
■学校図書館巡回派遣事業の実施、学校図書館図書センター事業の充実	・巡回派遣 延べ 120 日(3 校) ・中学校は 8 月以降、改修工事で図書館が閉鎖になったので巡回を実施し	・各学校の学校図書館利用計画に沿った学校図書館支援を取り進め

	なかった。 ・各学校で学校図書館利用計画が策定された。	る。
■小学校～「みんなの本だな事業」による学級文庫の充実	・みんなの本だな 昆布小 2 回、蘭越小 2 回実施 ・学級文庫配本 昆布小 5 回 1,242 冊 蘭越小 5 回 3,002 冊	・継続して、みんなの本だな事業を年 2 回実施する。
■中学校～「ひろがる本だな、生徒が作る学級文庫事業」による学級文庫の充実	・ひろがる本だな 1 回 1 日間で全学年実施 ・移動図書館による生徒が作る学級文庫 1 回 各学年 1 日間実施 ・学級文庫配本 2 回 563 冊	・本との関わりを持たせ、読書をするきっかけを作り続けていく。
■保健福祉センター・各役場出張所施設内文庫の設置	・保健福祉センター 12 回 856 冊 ・目名出張所 6 回 425 冊 ・昆布小職員室 5 回 86 冊 ・蘭越小職員室 8 回 295 冊 ・蘭越中職員室 4 回 78 冊	・あらゆる場所において、自主的な読書活動を行うことができるよう施設内文庫の充実に取り組む。
■お手軽文庫（訪問サービス専門員の安否訪問時に在宅高齢者へ配本）の実施	・12 回 延べ 66 人、1,585 冊配本	・健康推進課と連携しながら読書サービスの実施を継続する。
■高齢者生活福祉センター、老人施設等への移動図書館の実施、施設内文庫の設置	・高齢者生活福祉センターこんぶ 個人貸出 24 回 426 冊 文庫設置 24 回 442 冊 ・高齢者生活福祉センターめな 文庫設置 12 回 453 冊 ・昆布温泉病院 個人貸出 24 回 701 冊	・大活字本の蔵書を増やすなど可能な限りリクエストに応えた配本としていく。
■一般住民を対象とした移動図書館の実施	・いろはな BOOKS 町内事業所従業員を対象に図書館司書が選書した本 5 冊を 2 週間ごとに配本交換する取組 蘭越町役場 利用者 6 人 636 冊 既存取組者の減少止まらずニーズがないと判断した。 ・移動図書館～講演・イベント他会場での移動図書館の開設 実施回数 5 回 延べ 21 人 27 冊 土日のイベント等への移動図書館の開設は、勤務体制もあり難しかった。	・いろはな BOOKS 令和 6 年度で終了、他の取組に資源を回す。 ・移動図書館 平日の定期的な移動図書館も検討する。

施策項目25 生涯にわたるスポーツ活動の推進

目 標

各種スポーツ施設の充実に伴い、健康・体力づくりに対する関心が高まってきており、子どもからお年寄りまで、生涯スポーツ活動に親しむ意識の啓発をするとともに、スポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブの連携を強化し、町民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの充実に努める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
ニュース ポ ー ツ の 推 進	新たな種目の取組と普及	ニュースポ ー ツ大会の 開催	コロナウイ ルス感染症 で中止にな っていた大 会を三年ぶ りに開催。	小学生から 高齢者まで 幅広い年代 で、楽しい 交流ができた。	新種目のニ ュースポ ー ツの紹介・ 普及を目指 す。
ス ポ ー ツ ラ イ フ の 推 進	本町の自然や施設等を活用したスポーツ事業の普及と推進	各種スポ ー ツ行事の開 催（体力測 定会、歩こ う会、登山 等）	活動ごとに 創意工夫し ながら活動 の充実を図 った。	活動ごとに 創意工夫し ながら活動 の充実を図 った。	現種目の継 続とより一 層の充実と 推進を目指 す。

点検・評価の課題と今後の方向

（１）ニュースポーツの推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
ニュースポーツの推進	小学生と高齢者との対戦で歓声が上がるなど、楽しく交流することができた。	スポーツ推進委員と連携をしながら、異年齢間で交流できる種目の選定と普及に努める。

（２）スポーツライフの推進

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツライフの推進	近年参加者が減少していた歩こう会を町外で実施し、大好評を得ました。町民を対象とした体力測定会は、幅広い年齢層の参加者で開催することができた。	総合型地域スポーツクラブ（らんスポ）との連携を強化し、活動の充実と推進を図る。

施策項目26 児童生徒のスポーツ活動の充実

目 標

スポーツ協会等の協力を得ながらスポーツ少年団活動の充実を図り、指導者の育成や児童生徒を対象とした各種スポーツ大会等の開催・支援に努め、より多くの児童生徒がスポーツとふれあう機会を増やすなど、底辺の拡大を図る。

さらには、スポーツを通じて交流を深める機会を提供するとともに、気軽に楽しく参加できる教室を開催する。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	現状 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
スポーツ少年団活動の育成・強化	誰もがスポーツ・レク活動に親しめる環境づくりを進め、より多くの児童生徒が楽しく参加できる活動内容	スポーツ少年団の交流事業等を推進	各スポーツ少年団での大会が開催され、道大会への出場もあり、多少年団の強化が示された。	ウインタースポーツも含め、大会で好成績を収めている。多種目で少年団の強化が示された。	指導者の養成及びスポーツ少年団員の交流事業の開催を目指す。
各種スポーツ教室等の開催	スポーツ教室等の開催状況	各協会・連盟により各種スポーツ教室を開催	幼児・小学生を対象に水泳教室とスキー教室を開催しました。	幼児・小学生を対象に水泳教室とスキー教室を開催しました。	スポーツ協会と連携し指導者の育成及び各種スポーツ教室の充実を目指す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) スポーツ少年団活動の育成・強化

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ少年団への支援を充実し育成に取り組む。	支援を継続していますが、団員数や指導者の減少が見受けられる。	スポーツ少年団の組織の確立を図るため、スポーツ協会の競技団体との連携に努める。

(2) 各種スポーツ教室等の開催

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各競技団体が主催するスポーツ教室の開催	年長、小学生を対象にした水泳教室やスキー教室を開催した。大変好評で参加者も多いが、各教室での指導者確保が近年の課題となっている。	スポーツ協会やスポーツ少年団等が連携し主催する教室の継続開催に努める。

施策項目27 スポーツ環境の充実

目 標

より多くの町民が快適にスポーツに親しみ、既存施設の効果的かつ効率的に利用できるよう努めるとともに、老朽化により改修等が必要な施設については、緊急性の高いものから計画的に改修や維持補修を進める。

目標指標

指 標	指 標 の 概 要	状況 (H30)	R 5	R 6	目標 (R 6)
施設の有効利用	各種施設の有効利用状況	各種施設の有効利用や効率化を図るため、関係競技団体と調整。	町外団体へも積極的に施設の開放を行った。	町外団体へも積極的に施設の開放を行った。	各種施設の有効活用を目指す。
施設の計画的改修整備	老朽化する各種施設の整備状況	老朽化する各種施設改修等の整備計画を検討	館内暖房ボイラー、給水ポンプ修理。体育館玄関、駐車場街頭設置。	館内遊戯室カーペット張替え。野球場スコアボード修理。	整備計画を作成し、老朽化施設の改修を目指す。

点検・評価の課題と今後の方向

(1) 施設の有効利用

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
各種スポーツ施設の有効利用	総合体育館の有効利用を図るため、夜間利用団体打合せ会議を開催し利用調整に努めた。少年団活動や総合型地域スポーツクラブ、高齢者スポーツ活動で継続した利用があった。利用のないときには、他の競技団体の利用について努めた。 トレーニング室の新たな利用者確保のため、指導者を招きトレーニング教室を開催した。	施設の有効利用を図り、利用者が快適に使用できるよう努める。

(2) スポーツ施設の計画的な改修整備

① 令和6年度の取組の概要	② 令和6年度の取組の成果や課題	③ 今後の方向性
スポーツ施設の計画的な改修整備	大規模な改修はなかったが、経年劣化による設備の修理等が出てきている。 緊急性や安心安全が求められるものから、改修修理に努めたい。	利用者が安心して、安全に利用できるよう施設整備に努める。

第 3 章 外 部 評 価

第 3 章 の ポ イ ン ト

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること」が定められていることから、評価の客観性を高めるため、外部評価委員による点検評価を行いました。

1 外部評価委員による評価・意見

(1) 学識経験者

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	住 吉 邦 幸	蘭越町民生委員児童委員協議会長
副委員長	檜 伊佐夫	元蘭越中学校校長
委 員	福 島 雅 史	元蘭越町PTA連合会長
委 員	守 田 英 樹	蘭越高等学校長

(2) 聴取日等

日時 令和7年9月1日（月） 午後1時00分～午後3時10分

場所 蘭越町役場 3階委員会室

(3) 主な意見

① 教育委員会の活動状況について

教育委員会議は11回開催され、規程の一部改正、各種委員会委員の委嘱・任命、教育予算等の審議など教育を取り巻く環境の変化に迅速、かつ適切に対応されている。また、各事業に対して予算を適正に執行している。

昨年は、通年を通しコロナ禍以前の日常を取り戻す一年となり、行事や諸会議などに参加することができたが、今後も多様化・複雑化する社会課題を考慮しながら、行事や研修への積極的な参加を計画し、学校等の情報収集と変化する各種教育制度にしっかり対応するなど、教育行政の推進に努められたい。

② 教育推進計画に基づく点検・評価について

令和2年度から令和6年度を計画期間とする「蘭越町教育推進計画」に基づき、学校教育に係る分野15施策項目、社会教育に係る分野12施策項目について、具体的な取り組みが行われており、その成果や課題等、適切な自己評価が実施されている。

【学校教育】

「確かな学力の育成」では、家庭学習に取り組む児童生徒の割合が減少しているため、主体的に学ぶ児童生徒の育成に向けて、家庭学習の充実に努めるよう配慮されたい。

「特別支援教育の充実」では、一人ひとりの教育的ニーズの把握と個性を最大限に伸ばすための適切な指導と支援の提供が不可欠であるため、特別支援連携協議会の取組みをより一層充実させていただきたい。

「ふるさと教育の充実」では、アイヌの人たちの歴史や文化、北方領土に関する教育の充実に図るため、体験を通した学習に取り組まれるよう配慮されたい。

「生徒指導・教育相談の充実」では、いじめアンケートの実施によりいじめの未然防止や早期発見、解決に努められているが、いじめを認知した際は早期解決に向けた対応を図られたい。

「体力・運動能力の向上」については、児童・生徒の体力・運動能力の状況が基準年より低下傾向にあるため、体力・運動能力の向上策について検討いただきたい。

「学校安全教育の充実」では、交通安全と防犯の両面から、児童生徒の登下校時の安全確保を図るため、学校や保護者、地域社会全体が連携して取り組む安全体制の充実に引き続き努められたい。

【社会教育】

「芸術文化活動の推進」では、住民の関心が高い山村開発センターの改修について、（仮称）曲子光夫記念館の整備も含め、早期に進捗を明らかにされるよう期待する。

「文化財の保存と活用」では、大規模改修終了後の蘭越中学校にふるさと学習館を移設されるとのことであるが、貴重な文化資源が幅広い人の目に触れられるよう、鑑賞機会の充実と郷土資料の有効活用を期待する。

「生涯にわたるスポーツ活動の推進」では、ボッチャやモルックの指導体制を充実させ、誰もが楽しめるニュースポーツとして普及が図られるよう期待する。

「スポーツ環境の充実」では、スポーツ施設の改修整備については、厳しい財政状況の中、計画的に取り組まれていることは理解しているが、光量が不足する野球場のナイター照明設備のLED化や利用者が減少傾向にあるパークゴルフ場こぶしコースの有効活用方法を検討いただきたい。

（４） 総合評価

教育委員の活動状況の点検及び教育推進計画に基づく27項目の施策についての評価を行った。

教育委員会会議は定期に開催され、教育の諸課題に迅速、かつ適切に対応されており、状況に応じた議論や協議がなされている。また、教育推進計画に基づく各施策項目については、進捗状況及び成果や課題が具体的に整理され、課題に対する今後の取り組みも示され、適切な執行管理がなされている。

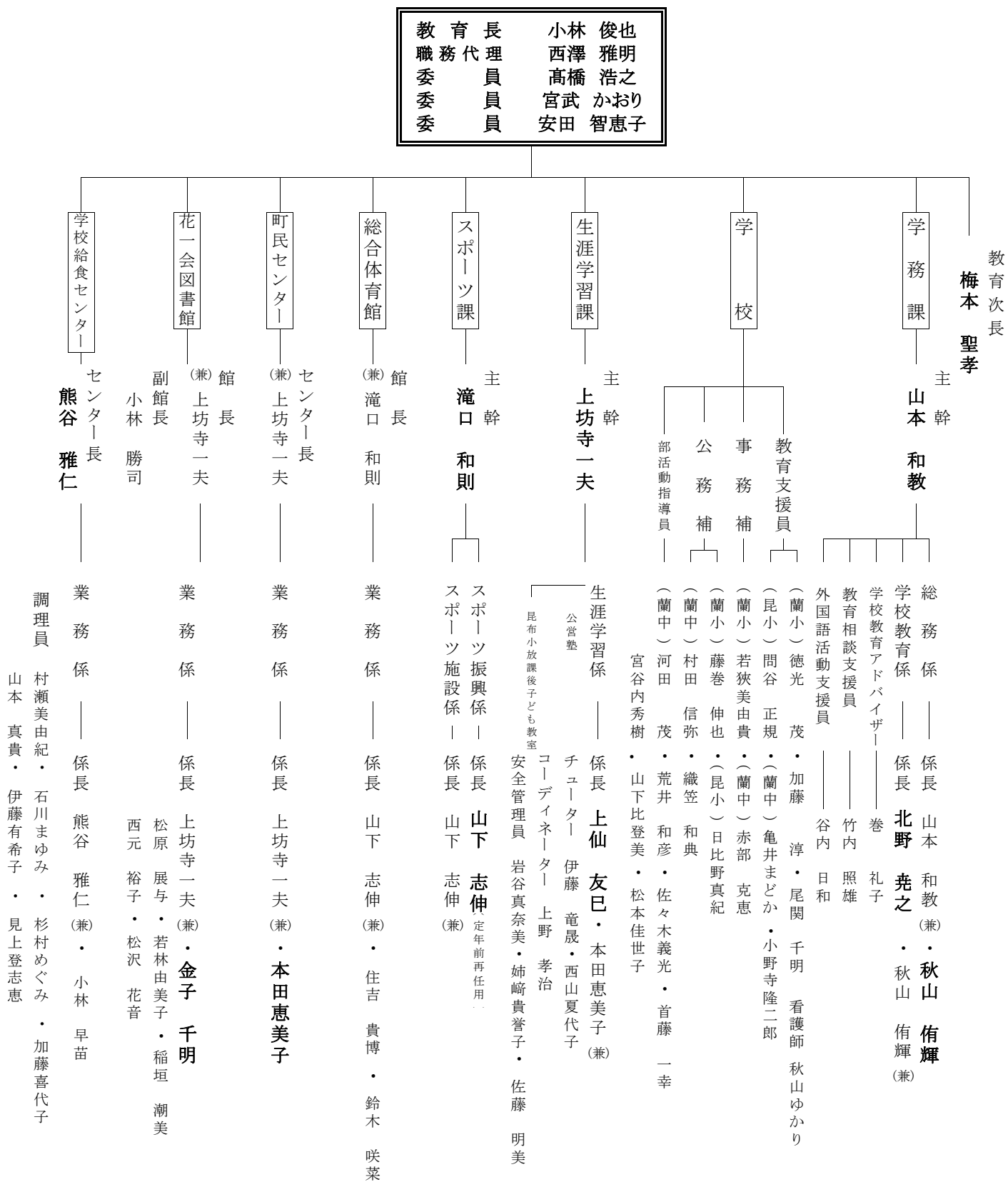
教育をめぐる情勢は、社会の状況や人間の価値観を指標としながら、ボーダレスで多様性の時代における方向感の見えにくいものになってきている。教育委員会は、地域の特性やニーズを認識、把握したうえで、次代を担う子どもたちが未来を切り開き、持続可能な社会を作り出すため想像豊かに力強く歩んでいける教育を着実に推進し、地域を構成するすべての人が豊かで幸せな社会を実現することで希望の持てる取り組みを進めていただきたい。

令和7年度は、改定された教育推進計画を基に教育委員会の活動が行われていくことから、施策の着実な目標到達と、時代の変化に合わせた事業を実施し、教育に関する諸施策を町政全般とのバランスも勘案しながら展開していくことを期待する。

資 料

1 教育委員会行政組織機構図

令和6年4月1日



2 学校の児童生徒・教職員数

児童生徒数

令和6年5月1日現在

学 校 名	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
昆布小学校	1 7	6	8	8	8	6	5 3
蘭越小学校	2 4	1 8	2 1	2 7	3 0	2 7	1 4 7
小学校計	4 1	2 4	2 9	3 5	3 8	3 3	2 0 0
蘭越中学校	2 4	3 5	3 6				9 5
計							2 9 5

教職員数

(道費負担職員)

令和6年5月1日現在

学 校 名	教 員	養護教諭	事務職員	栄養教諭	合計
昆布小学校	8	1	1		1 0
蘭越小学校	1 8	1	1	1	2 1
蘭越中学校	1 4	1	1		1 6
計	4 0	3	3	1	4 7

※休職、期付含む

(町費負担職員)

学 校 名	支援員	事務補	公務補	看護師	合計
昆布小学校	2		1		3
蘭越小学校	3	1	1	1	6
蘭越中学校	2	1	2		5
計	7	2	4	1	1 4

3 施設利用者数

(1) 町民センター利用者

生涯学習 サークル		各種教室・会議 等		商工会・コミュ ニティ団体		行政関係・その 他		合 計	
件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
952	4,857	128	2,697	85	2,267	274	4,052	1,439	13,873

(2) 町民プール利用者

幼 児	小学生	中学生	高校・一般	団 体	町外者	計
337	1,284	211	866	1,541	266	4,505

(3) 体育施設利用者

総合体育館		運 動 公 園				山 村 広 場		
一 般	団 体	野球場	こぶし パーク	ゲート ボール	XCスキー 他公園施設	多目的 広 場	サーモン パーク	テニス コート
16,719	7,923	4,982	115	483	未集計			※450
24,642		5,580				450		

※推計

(4) 目名サッカー場利用者

	幼児	少年団	中学校	その他	観客	計
利用日数	0	53	0	高2 一般0		55
利用者数	0	2,291	0	高60 一般0		2,351

(5) トレーニング室利用者

	男子	女子	計
町内利用者	2,342	1,884	4,226
町外利用者	646	103	749

(6) 花一会図書館利用者

来館者数	貸出冊数	新規登録者
23,070 人	57,358 冊	116 人

令和6年度 蘭越町立昆布小学校 学校評価

学校教育 目標	たくましく 学び合い(知) ひびき合い(情) みがき合い(意・体)	経営の 重点	「自分の考えをしっかりと持ち、 表現し合える子どもの育成」	評価方法	○教職員アンケート(設問数21)保護者アンケート(設問数9)、児童アンケート(設問数10)について実施 ※ 7月に第1回目の評価を行い、その集計結果を基に改善を図り、12月に再度改善を図るための最終的な評価を行う。 ○教職員アンケート、保護者アンケート、児童アンケートの集計結果・考察をもとにした、学校関係者評価を行う。 ◎後期に教職員アンケート(設問数22)保護者アンケート(設問数10)、児童アンケート(設問数13)に変更し、自己肯定感を高める取組の評価を追加した。	評価基準	4 十分達成されている 3 ほぼ達成されている 2 あまり達成されていない 1 全く達成されていない				学校運営協議会昆布小学校部会				蘭越町立昆布小学校 校長 三上 智之 印	
							委員									
							部会長 大室 真一		校長 三上 智之		高橋 洋介					
							山田 恵		志比川 武		林 千恵					

評価計画																	学校運営協議会専門部会による評価の妥当性	学校運営協議会専門部会からの意見要望	
重点目標		教職員評価項目		第1回	第2回	保護者評価項目		第1回	第2回	児童評価項目		第1回	第2回	第1回 平均	第2回 平均	分析・考察			改善策
知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力、ツール活用能力の育成	1	主体的な学びによる確かな学力の向上を図っている。(主体的で対話的な深い学びの視点による指導方法の改善 「個人思考」と「集団思考」の場面の定着 ゴールを明確にした授業づくり)		3.0	3.1	学校では、授業内容の充実による一人一人のよさを生かし、個別指導やグループ学習など基礎学力を高めていく中で、自分の考えを表現できるよう、取組を進めてきましたが、御家庭からみていかがでしたか。		3.5	3.6	(低) 自分の考えを発表したり、友達の話をしっかり聞いたりすることができる。 (中) 自分の考えをわかりやすく伝えたり、友達の発表を自分の考えを比べたりすることができる。 (高) 自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の意見を聞いたりして、みんなの意見や考えをまとめることができる。		3.3	3.2	3.3	3.3	【重点項目】特に自分の考えを話して伝える機会を設定できた。目標値(3. 5以上、肯定90%以上)に達していない点は今後さらに推進するべき指標となる。	来年度も、重点目標として伝える力をさらに伸ばしていきたい。	妥当	今後も継続して「子どもに考えさせる」授業を推進している。児童の意欲を高めた指導が継続されている。今後も継続して欲しい。
	2	家庭学習の習慣化と学習機会や時間の確保を図っている。(学習方法の提示 自主ノートの点検や交流 放課後の学習活動の実施)		3.0	3.1	学校では「家庭学習の手引き」にもとづき、家庭学習の習慣化を測るための取組を進めてきましたが、御家庭ではいかがでしたか。		2.8	3.1	毎日家庭学習をしている。(1年生10分 2年生20分 3年生30分 4年生40分 5年生50分 6年生60分以上)		2.9	2.8	2.9	3.0	多様な家庭学習の内容を紹介から、意識の向上と実施が増えている。AIDリルの活用等を長期休業中に行って意識の向上を図った。	今後も発達段階に応じた取組を継続する。		
	3	学習過程が統一され、子どもたちも学習のしかたが浸透しているか。(自分たちで考え学習を進めていく力)		3.4	3.4					(低) 次に自分が何をしたらいいかがわかる。 (中) 次に何をしたらいいかがわかり、自分たちで学習を進めることができる。 (高) 学習のしかたを自分なりに考えて進めることができる。		3.2	2.9	3.3	3.2	【重点項目】目標値には近づいた。3学期からは単式学級を見据えた複式の算数授業体験を進めている。	複式の良さであるところの、学習リーダーを中心とした自主的な学習の仕方の定着を、今後も進めていく。		
	4	子どもの学びを保障するため年間指導計画を工夫・改善し、指導の充実を図る。(各教科等の年間指導計画の適切な実施と工夫・改善)		3.1	3.3	学校では、探究的に地域を学ぶため地域人材を積極的に活用した、総合的な学習の指導の改善充実を図る取組を進めてきましたが、御家庭からみていかがでしたか。		3.6	3.5	(低) 生活科の学習などでは、学校の周りの虫や草花を調べたり観察したりしている。 (中) 総合的な学習の時間などでは、昆布や蘭越の自然について学習している。 (高) 総合的な学習の時間などでは、昆布や蘭越の産業について調べ学習をしている。		3.4	3.4	3.4	3.4	昨年度同様、生活科・総合的な学習の中で、地域の学習素材を生かした学習が進められた。	地域人材の活用に関しては、今後も年間指導計画へ組み入れて進めていく。		
	5	情報活用能力の向上と情報モラルの徹底を図る。(リモート授業実施のための校内研修の推進及びプログラミング教育を取り入れた教科指導の実施 ICT機器の活用 情報モラルの向上 リモート学習の導入)		3.0	3.1	学校では、子どもたちがICT機器に慣れ親しめるようにと、タブレット等を積極的に使用した授業を進めてきましたが、御家庭から見ていかがでしたか。		3.3	3.3	学校では、タブレットや実物投影機などをよく使って学習している。		3.4	3.3	3.2	3.2	【重点項目】目標値に近づいた。環境整備後から道教委実施のチャレンジテスト、AIDリルのタブレット利用、電子黒板の利用が増えた。	次年度、タブレットの入れ替えが行われる。研修や学習での活用場面を増やしていく。		
	6	効果的な教育活動によるキャリア教育の充実を図る。(各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の学習活動を通した横断的なキャリア教育の推進。キャリアパスポートの活用)		3.0	3.0									3.0	3.0				
学びに向かう力と協調性、健やかな体の育成	7	道徳的価値と向き合う指導の充実を図っている。(考え論議する道徳科の授業 全教育活動を通じた道徳性の育成 児童の心の成長を促す活動の充実)		3.0	3.1	学校では、授業の充実など道徳科の授業の改善及び道徳教育の充実を図る取り組みを進めてきましたが、御家庭からみていかがでしたか。		3.4	3.3	(道徳では) 友だちの考えも聞きながら、何が正しいことなのか、自分で考えることができる。		3.3	3.1	3.2	3.2			妥当	運動会やマラソン大会等の保護者の協力体制があり、一体で取り組んでいるところが良い。自己肯定感が高まって欲しい。
	8	「共感する」「認め合う」「つながり合う」の意識を高める指導の充実を図っている。(頑張りを認め合う「温かい学校づくり」の推進 いじめを生まない土壌づくり 基本的生活習慣の徹底 気持ちの良い挨拶 相談体制の確立による児童のストレスの緩和 活動への意欲喚起)		3.4	3.4	学校では、学級活動や縦割り班活動など集団の一員として仲間と協調して行動し、いじめアンケートの実施などいじめの未然防止を図る取組を進めてきましたが、御家庭からみていかがでしたか。		3.5	3.4	友だちと助け合ったり、親切にしたりすることができる。		3.7	3.5	3.5	3.4				
	9	新体力テスト等の結果の活用及び健康の保持増進、体力づくりの意識化を図る。(教科体育における新体力テストの結果の活用、全校的な取り組みと放課後子ども教室、スポーツ少年団との連携による運動の習慣化)		3.0	3.1	学校では、体力テスト等で子どもたちの体力を測るとともに、体育の授業の改善や業間遊び、放課後子ども教室やスポーツ少年団との連携などの取組を進めてきましたが、これらの取組は、御家庭からみていかがですか。		3.5	3.7	進んで体育や運動に取り組んでいる。		3.8	3.5	3.4	3.4	全校マラソンは暑さ指数を確認しつつ実施し、安全に行えた。クロカンは用具が充足し実施できている。	次年度も安全に実施し、体力向上に努めていく。		
	10	一人一人の成長や変容が実感できる学校行事の充実・改善を図っている。		3.4	3.3									3.4	3.3				
	11	学習規律の育成についての指導内容の明確化と組織的・継続的な取組を図っている。		3.5	3.8					学校では、学習のきまりをよく守っている。		3.6	3.6	3.6	3.7				
	12	児童の自己肯定感を高める指導、良さを認め励ます関わりを行い、児童が学校を楽しいと思える取組を図っている。			3.3	学校では、子どもたちが自己肯定感を高めることができる働きかけを行い、「学校に来ることが楽しい」と思える取組を進めてきましたが、これらの取組は、御家庭からみていかがですか。			3.5	自分には、良いところがあると思う。 学校に来ることが楽しい。 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。			3.1 3.0 3.4		3.3 3.3 3.4	後期から項目を追加した。意欲の向上の推移を図っていく。	経年での変化や児童の実態を測る指標としていく。		

教師力の向上	13	専門職としての資質の向上を目指す校内研修の充実を図っている。(授業研究等研修活動の推進 OJTによる資質・能力の向上)	3.2	3.2					3.2	3.2			妥当	職員会議でのペーパーレス化の推進に結果が現れている。危機管理に関してもマニュアルの見直しなどの実践がある。通学路の安全確保も速やかに実行されている。今後も継続して欲しい。
	14	教職員の協働体制の充実を図り、業務の効率的な推進を図っている。(働き方改革の推進)(相談体制の構築 組織的な協働体制職員会議のペーパーレス化や学校行事の見直し、教材等の継続的な使用等による業務内容の改善)	2.8	3.0					2.8	3.0	校務支援システムを有効活用して文書配付や確認のペーパーレス化につなげている。	PTA関係の配付文書など、一部を安心メール配付にしている活用を広げられるか検討していく。		
	15	教育公務員としての服務規律の遵守を図っている	3.7	3.8					3.7	3.8				
	16	危機管理と危機への対応力の充実を図っている。(防災訓練、不審者対策等の充実 安全点検 危機管理マニュアルの見直しと共通理解)	3.0	3.1	学校では、安全、安心に過ごせる教育環境を整えるよう避難訓練や街頭指導、校内外の危険箇所の点検などに取り組んでいましたが、御家庭からみていかがでしたか。	3.7	3.6	登下校の時の交通安全や、休み時間などでけがをしないように気をつけている。	3.6	3.6	3.4	3.4		
	17	特別に支援を必要とする児童への理解を深め、個別の指導・支援計画に基づき組織的な対応を図っている。(支援方策の検討と具体化 研修活動の充実 ユニバーサルデザインの視点からの教室環境の整備)	3.3	3.3					3.3	3.3				
地域とともにある学校づくり	18	教育目標、重点目標の家庭・地域との共通理解と具現化を図っている。(学校グランドデザインの家庭・地域への啓発)	3.0	3.1					3.0	3.1			妥当	情報発信が定期的になされている。継続して発信して欲しい。
	19	CSとの連携により地域の人的・物的資源を活用した授業実践の推進を図っている。	3.0	3.0					3.0	3.0		項目4に同じ		
	20	保育所、町内小学校・中学校との交流活動、連携の充実を図っている。	2.6	2.9					2.6	2.9	昨年度より蘭越小との合同社会科見学を再開した。	教育課程交流会を通して各学年実施できるように今後も調整していく。		
	21	各種お便りや懇談会、行事等を通して、分かりやすくタイムリーな情報提供を図っている。	3.2	3.3	学校では、わかりやすく・見やすい情報発信、学校公開等による教育活動の可視化を図る取組を進めてきましたが、御家庭からみていかがでしたか。	3.3	3.5		3.3	3.4				
	22	学校評価や月別学校運営計画等を活用し、PDCAサイクルによる実践事項の評価、教育課程への反映を図る。	3.1	3.1					3.1	3.1				

第2回学校評価の結果について

今回は58家庭から回答いただきました。蘭越小は99家庭のため回収率は58.6%になります。

2学期末に実施した保護者アンケートの結果についてお知らせします。

番号	設 問	評価 A(%)	評価 B(%)	評価 C(%)	評価 D(%)	[良好な回答] 評価 AB(%)
1	確かな学力	17.2	69.0	12.1	1.7	86.2
2		17.2	62.1	19.0	1.7	79.3
3		31.0	56.9	10.3	1.7	87.9
4	健やかな体	31.0	58.6	8.6	1.7	89.7
5		36.2	53.4	8.6	1.7	89.7
6		32.8	60.3	5.2	1.7	93.1
7	豊かな心	41.4	44.8	12.1	1.7	86.2
8		37.9	55.2	5.2	1.7	93.1
9		29.3	63.8	5.2	1.7	93.1
10	開かれた学校	48.3	44.8	5.2	1.7	93.1
11		43.1	44.8	12.1	0.0	87.9
12		44.8	46.6	8.6	0.0	91.4

＜成果として＞

12項目中、11項目でAB評価が85%を上回りました。特に、【6 防災教育や情報モラルなどの安全教育】、【8 交流を通して自分や友達のよさに気づく】、【9 道徳の授業やあらゆる場面での心の育成】、【10 保護者や地域との連携】がいずれも93.1%と、前回も高く評価いただいた「豊かな心」や「開かれた学校づくり」に加えて「健やかな体」にかかわる項目について高い評価をいただきました。「確かな学力」でも、1つの項目を除き86%以上となりました。様々な教育活動を通して、自分を大切にすること（自己肯定感）を土台に、学力はもちろんのこと、心身の安全や生命尊重、他者を思いやる気持ちを育成してきたことを実感いただけたことがわかり、うれしく思っております。今回の評価を励みに、今後も重点目標である「知識・技能を身につけ、自ら気づき、考え・行動する子の育成」を目指して教育活動を展開してまいります。

＜課題および改善策として＞

【2 タブレットの活用,個別でじっくり,友達と協力して学ぶなど,「学び方」の基礎が定着した】で79.3%と、前回に引き続き他の項目と比べると物足りなさを感じています。今求められている「主体的な学び」に直結するものであり、校内研修のテーマにも掲げながら全教職員で取り組んでいるところですので、これまでの取組を改善しながら、今後も進めていきます。

特にタブレットの活用については、今年度より整備を始めていました ICTドリル教材(スマイルネクスト)がようやく軌道に乗り始め、授業の中で児童たち自身がこれを活用して学びに向かっている場面がだんだん増えてきています。次年度はタブレット端末の更新も行われる見通しですので、さらに力を入れて取り組んでいきます。

2024年度 蘭越町立蘭越中学校 学校評価

学校教育目標 ○力のある ねらいをもって 学び続ける生徒 ○豊かな心を持つ 明るくて 思いやりのある生徒 ○強い意志を持つ 深く考えて 実行する生徒 ○心身ともに健康な ねばり強くて たくましい生			令和6年度重点目標 互いに認め合い 高め合う 生徒の育成			令和6年度学校経営の重点 ○「互いを認め合う」活動を取り入れた学習指導 ○温かい学校・学級づくり ○安全・安心な学校環境の構築 ○信頼される学校づくり ○地域の中の学校			コミュニティスクール中学校部会 学校：柴山理香（校長）、島崎明日香（教諭） 委員：小澤 修、谷口昌弘、河西奈々			蘭越町立蘭越中学校 校長 柴 山 理 香 印		
	No.	アンケート項目	前期			後期			全体 評価	分析・考察	改善策	学校運営協議 会による評価の 妥当性	学校運営協議会専門部会 からの意見要望	
			教職員	保護者	生徒	教職員	保護者	生徒						
「互いを認め合う」活動を取り入れた 学習指導の展開	1	生徒達は、授業の内容を理解している。	3.0	2.9	3.0	➡ 2.9	➡ 2.9	⬆ 3.2	2.9	①・④授業内容についての生徒の理解が上がった。授業改善の理解が進んだことにより、教職員はまだ自信を持つほどの意識は少ないが、生徒にとっては変化を感じていると思われる。 ②・③家庭学習について、生徒は努力していると感じている。これは⑮・⑯のスマホの利用に考える機会を与えたことも関連していると思われる。読書・読解への意識は変化が見られない。 ④・⑤・⑥ともポイントが上昇した。個別最適な学びを実践しつつ、協働的な学びとして、行事におけるお互いを尊重し他者を認める活動や、授業でも自分1人だと諦めてしまうところを、他者の考えに触れながら学習を進めることなどが、功を奏していると考えられる。 ⑦総合的な学習の時間で系統立てて行ってきたキャリア教育が一定の功を奏していると考えられる。 ⑧体力・運動能力が高いポイントを示した。保健体育科における、工夫しルーティン化した授業形態等が影響したと考えられる。	○生徒が自ら学び取る学習へとシフトできるよう、自信を持って授業改善を推進していく。 ○スマホ利用の取組を継続することで、家庭学習・読書量の増加を見込んでいきたい。 ○学校教育全体で、個別最適と協働の一体的な充実を図っていく。お互いの個を大切にしつつ、人とのつながりも大切に、他者と協働して課題を解決していく活動を推進していく。 ○探求的な学びを入れつつも、これまでの成果を踏まえ、スリム化しつつもキャリア教育を継続していく。 ○体力向上をさらに進めるため、持続的な部活動指導員の配置、らんスポへの移行推進など、学校と地域が一体となって体力向上を目指したい。	妥当	○先生方から生徒へのあたたかな対話から、全ての項目にその成果があらわれてきている。今後も継続してもらいたい。	
	2	生徒達は、予習・復習など、家庭学習に取り組んでいる。	2.4	2.5	2.4	⬇ 2.3	➡ 2.5	⬆ 2.6						
	3	生徒達は、文章を読むことに慣れている。	2.4	2.7	2.9	⬆ 2.5	➡ 2.7	➡ 2.9						
	4	学校は、個に応じた学習を行っている。	3.0	2.8	2.8	➡ 2.9	⬆ 3.1	➡ 2.9						
	5	生徒達は、お互いを認め合い、高め合っている。	3.0	3.0	3.0	➡ 3.1	➡ 3.1	➡ 3.0						
	6	生徒達は、あきらめることなく学習に取り組んでいる。	2.6	2.8	2.8	➡ 2.7	⬆ 2.9	⬆ 3.1						
	7	生徒達は、今後の進路や職業について、自分なりの考えを持っている。	2.6	2.7	2.8	➡ 2.7	➡ 2.7	➡ 2.9						
	8	学校は、体力の向上や健康な体づくりに取り組んでいる。	3.0	3.0	3.0	⬆ 3.1	➡ 3.1	➡ 3.1						
温かい学校・学級づくり	9	生徒達は、気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。	2.9	3.1	2.9	⬇ 2.6	⬇ 3.0	➡ 2.9	3.0	⑨挨拶・言葉遣いについては、ポイントが下がっている。 ⑩・⑪・⑫安定したコミュニケーションを土台に、他者からも認められていると感じているものの、学校生活の楽しさに対し、生徒のポイントがあまり奮わない。	○挨拶や言葉遣いが大切なことは、生徒も理解している。生徒が自ら実態を振り返り、改善していく機運を高める仕掛けを行っていきたい。 ○嫌な思いをする言動には敏感に対処しつつ、他者を認める言動を意識的に取り上げる。また、生徒の手で学校が楽しいと感じることができるよう取組を行い。さらに心理的安全性の高い学級・学校づくりを行っていく。また、①と関連し、わかる授業のための授業改善を行い、学校生活への意欲を向上させたい。	妥当	○生徒との好ましいコミュニケーションにより、生徒が認められていると感じていると思われる。今後も「学校通うことが楽しみ」の項目の向上に向け、取組を継続してもらいたい。	
	10	生徒達は、学校に通うことを楽しみにしている。	3.1	3.2	2.7	➡ 3.2	➡ 3.2	➡ 2.7						
	11	生徒達は、自分のよいところを、認めてもらっている。	3.3	3.2	3.2	➡ 3.3	➡ 3.2	➡ 3.2						
	12	生徒達は、友達や家族と上手にコミュニケーションを取っている。	2.9	3.3	3.1	➡ 2.9	➡ 3.3	➡ 3.2						
安全・安心な学校環境の構築	13	生徒達は、善悪の判断や思いやりの気持ちをもっている。	2.9	3.4	3.0	➡ 2.9	➡ 3.3	➡ 3.1	3.0	⑬・⑭思いやりやいじめ防止の観点では、ほぼ良好であり、善悪の判断についても向上している。いじめの項目が微減している。 ⑮・⑯非常に大きなポイント上昇となった。生徒指導、生徒会を中心とし、保護者にも理解を得ながら進めた、生徒達が自ら生活リズムを改善し、スマホ利用を抑制しようとする取組が功を奏したと思われる。	○生徒指導部や生徒会を中心に、心理的安全性が担保され、善悪の判断を大切に、思いやりを大切にすることで、いじめが起きにくく、過ごしやすい学校づくりのための活動を継続する。 ○保護者も生徒も実感を得ている活動であり、継続して取り組むことに意味がある。なお、記述にもあるが、家庭ルールについては、地域と連携して保護者に啓発していく必要がある。	妥当	○生徒と教師が生活改善に向けて、お互いのキャッチボールを元に、生徒が自分事として真剣に考えることができたことが、大きな成果につながったと思われる。一人ひとりに合わせた有効な方策であり、ぜひ今後も継続してもらいたい。 ○いじめについては、教師がアンテナを高くしつつ、相談しやすい人間関係づくりを引き続き継続するとともに、自分の思いを発信できるような生徒の育成に取り組んでもらいたい。	
	14	学校は、いじめの防止や早期発見・早期解決に取り組んでいる。	3.5	3.0	2.9	➡ 3.5	⬆ 3.2	⬇ 2.8						
	15	生徒達は、規則正しい生活を送っている。	2.8	2.8	2.7	⬇ 2.6	⬆ 3.1	⬆ 3.0						
	16	生徒達は、スマホ等の利用について、家庭のルールを守っている。	2.7	2.6	3.0	⬆ 2.9	⬆ 2.8	⬆ 3.2						
地域の中での学校	17	学校は、小学校や高校と連携した取組を行っている。	2.8	2.8		⬆ 2.9	⬆ 3.1		3.2	⑰・⑱・⑲とも非常によい結果と捉えられる。 ○中1ギャップ、高1クライシスを緩和し、系統立てて、安心して進学できるよう継続する。 ○探求的な学びを取り入れた総合的な学習の時間へと移行していく中で、地学協働コーディネーターと連携し、地域に根ざした活動を目指していく。	妥当	○継続してもらいたい。		
	18	学校は、学校だよりや学級通信等により、学校の様子を保護者や地域に伝えている。	3.7	3.4		⬇ 3.6	➡ 3.3							
	19	学校は、職業体験や地域から講師を招くなど、体験を取り入れる等、蘭越町について学ぶ機会を設けている。	3.4	3.1		⬇ 3.2	➡ 3.2							